乙女たちの戦車道ライフをサポートする専門誌

# 月刊 戦車道

第63回
戦車道
全国高校生大会
増刊 第2号



海や川を渡る戦車が大集結!
不肖・秋山優花里の
## 戦車講座

巻頭特集
ユニークな戦術が
キラリと光る大洗女子に迫る!
## グラフィック イン アクション

戦車への愛であふれる乙女心をクローズアップ
## 大洗女子[茨城]チームメンバー 戦車愛を語る
## 大洗女子[茨城]チームの日常

好評連載中 ダージリンたちの全国大会が開戦!
聖グロリアーナ女学院、戦いの軌跡
## 聖グロリアーナ女学院[神奈川]X黒森峰女学園[熊本]への道〈第2回〉

強豪校の驚くべき実力を徹底解説
## ライバルチーム研究

ガルパン関係者のコメントを掲載
## ガルパン トピックス

今後の展開を握るアノ人たちを直撃
## プロジェクトG~ガルパンを支えた人びと~



# グラフィック イン アクション
## GRAPHIC IN ACTION



### 意表をついた迷彩で強敵を見事に撃破！

聖グロリアーナとの親善試合で、巧みな奇襲攻撃にて初戦果を挙げたカバさんチーム。彼女たちは、のぼり旗を店舗脇の路地に配置することで、都市型迷彩を形成。見事に聖グロリアーナの目をごまかした。

意気揚々としたカバさんチームに比べ、撃破されたマチルダⅡの車長は明らかに困惑した様子。正々堂々と戦う聖グロリアーナにとって、奇抜な戦術を駆使する大洗女子は、初めて出会った異色の存在であった。

# 語る KATARU

## 第2回 アヒルさんチーム





「はっきゅん」と
愛称をつけるくらい、
自らの戦車に愛着を
持つアヒルさんチーム。
そこで皆さんに八九式
中戦車の魅力をお聞き
してみました。



**磯辺 典子**
大洗女子学園 2 年
〈バレー部部長〉
車長兼装填手。バレー部の復活をかけて、戦車道を履修する



**近藤 妙子**
大洗女子学園 1 年
〈バレー部〉
通信手。ジャンプサーブを得意とする、チームのムードメーカー



**河西 忍**
大洗女子学園 1 年
〈バレー部〉
操縦手。つねに前向きなアタッカーだが、その分短気でもある



**佐々木 あけび**
大洗女子学園 1 年
〈バレー部〉
砲手。我慢強いおっとりさんで、射撃の腕前は群を抜いている

# I ♥ PANZER 大洗女子チームメンバー 戦車愛を

SENSYA AIWO



# 「形もあひるみたいでかわいいよね～。ころころしてて、おもちゃみたいですよね～」







**磯辺**「どうした、近藤。なに、インタビュー？　バレー部の宣伝か!?」

**河西**「えっ、私たちにインタビュー？　やりましたね、キャプテン！」

**佐々木**「バレー部も、やっと注目されたってことですね！」

**近藤**「えーっと、インタビューは私たちの戦車についてなんですよ……」

**磯辺**「私たちバレー部は、今部員を大募集中です。なんと今なら、すぐにレギュラーになれるという特典付き！」

**佐々木**「そうですねー、私は一年生なのに、入ってすぐレギュラーです！」

**河西**「私もです、今なら戦車道が履修できるというオプションも！」

**近藤**「だから、八九式について語ってくださいってインタビューなんです～」

**磯辺・河西・佐々木**「「えー」」

**近藤**「真面目に答えましょうよ、生徒会が怒っちゃいますよ」

**磯辺**「そそれはまずい。バレー部復活が遠のいてしまう」

**佐々木**「えーっと、はっきゅんのかわいさを答えればいいの？」

**河西**「もうチームの一員だからね。バレーができないのが残念だけど」

**近藤**「そうそう、八九式について何でもいいから言って欲しいそうです」

**磯辺**「砲弾軽いのはいいな。ガンガン装填できるから」

**佐々木**「砲をかついで狙うから細かい調整が楽だし、飛んでいく砲弾が見えるから、思ったところに当たるのがいいよね」

**近藤**「え、飛んでく砲弾が見えるの？」

**佐々木**「うん、強豪校の殺人サーブに比べたら全然大丈夫」

**近藤**「えーっと確か八九式の主砲の砲口初速は……どこに載ってたっけ」

**河西**「強豪校のスパイクは見えないくらい速かったりしますからね」

**磯辺**「当然だ、有名校はマッハスパイクとか、ガンガン打って来るぞ」

**佐々木**「あれに比べたら余裕です」

**磯辺**「これもあの地獄の特訓のおかげだな」

**河西**「いやー、あの特訓はきつかったですね」

**近藤**「いつの間にかみんないなくなって、私たちだけになっちゃってましたね」

**磯辺**「まぁ去年も私以外、いつの間にかいなくなってたけど、あれはいい特訓だったぞ」

**近藤**「そうですよね！　ほかには何かないですか？」

## 先 自動車部員の戦車整備録

今度はあひるさんチーム？

うーん、困ったな、どう話したらいいんだろ。ほら、八九式は中戦車ってことになっているけど、実際は軽戦車だよね。小さいだけじゃなく、開発が古いこともあって、改造の余地があんまりないんだ。38(t)のように駆逐戦車にするとか、そんな派生型もないみたいだしね。九五式軽戦車とか、もっと後に開発された車輌なら小さくても自走砲改造型とかあるんだけどね。とはいえ何とかしなきゃならないから、一応エンジンは一回完全にばらして、電気系とプラグ、パッキンとオイルは全部交換したけど。それだけで信頼性と性能はかなり向上したよ。

知ってる？　昔の電線って、今みたいな樹脂被覆じゃなくて、布とか紙で巻いてたんだよ。これは日本だけじゃなく、アメリカ以外は結構そうだったみたいだね。当時のアメリカ仕様の電線やプラグにするだけで、性能は段違いになるよ。そうそう、ベアリングも全部交換したんだ。あれは結構手間だったなあ。細かいところでは、ボルトやナットとかいろいろ交換していろいろいじったけど、装甲は薄くて砲力はないから運用は難しいんじゃないかな。

まあ、車体が軽いから、改造次第ではある程度機動性を高められるから、とにかくきびきび動くように機動力重視のセットアップにしてみたんだよね。乗るメンバーも運動神経と動体視力は良さそうだったから、当たらなければ何とかなるように、ってね。もっと出力が大きくてトルクの太いエンジンに積み替えて、増加装甲を付けて、もう少し強力な砲を積むって案もあるにはあるんだけど、増加装甲以外部品が無いんだ。増加装甲だけ付けても、パワーウェイトレシオが落ちるし。それ以前に、元々の装甲が雀の涙だから、多少の増加装甲なんて、気休めにしかならないよね。そして不整地走行力が低いのは、履帯はもう少し太いのに換えられたらいいんだけど、それも厳しいから、足回りを強化して多少改善してみたんだよ。砲力に関しては、Ⅳ号の余った短砲身75ミリ砲か、38(t)の37ミリ砲を積むってのも考えたけど、どうせやるならもう少し性能上げたいしね。ま、乗っているバレー部のみんなからも、改造して欲しいなんて意見は出てないから、アレはアレでいいんじゃないかな。



大洗女子学園 3年
自動車部所属 ナカジマ談







佐々木「形もあひるみたいでかわいいよね～」
河西「そうそう、私もそう思った」
磯辺「やっぱり黄色に塗った方が良かったか？」
近藤「いや、前も止めましたけど、それは絶対にやめてください」
佐々木「えー、かわいいのに」
河西「主砲をオレンジに塗って、砲塔に目とか描きたかった～」
佐々木「ころころしてて、おもちゃみたいですよね～」
磯辺「昔の漫画の戦車って、あんな形をしてたような」
近藤「のら犬の兵隊漫画にホイペットが出てたのは覚えてますよ」
河西「ホイペット？」
佐々木「ほら、生徒会に見せられた映像に出てた、一期一会って書いてあった戦車だよー」
河西「あー、あのヘンテコなの」
佐々木「ヘンテコじゃないよ」
磯辺「あの漫画の戦車は、砲塔の前と横に砲があったり、飛行戦車とか変なのがいろいろあったなあ」
河西「そんな昔の漫画、普通知りませんから」
磯辺・近藤・佐々木「『えー』」
河西「知らないものは知りませんって」
磯辺「まあ、あとは何かあったっけ」
佐々木「何かって何が？」
磯辺「だからうちの八九式」
近藤「ちょっと狭いかな」
河西「うん、狭いね」
佐々木「狭いです」
磯辺「……そうか？」
佐々木「乗り降りするのも大変です」
河西「戦車乗る時はできるだけ体にぴったりした服が良い、ってのがよく分かるよね」
近藤「私たち、ユニフォームだけどね」
磯辺「私はバレー部が復活するまで、ユニフォームは封印しておく」
河西「キャプテンは、バレー部復活まで願をかけているんですよね」
磯辺「その通り！」
近藤「新入部員もすぐにいっぱい来ますよ！」
佐々木「試合ができる日も近いです！」
近藤「最後になにかありますか？」
佐々木「うーん、あ、やっぱりあれだよね」
河西「うん、そうだね」
磯辺「ああ、あれか」
近藤「じゃあ、全員で」
全員「はっきゅん、ありがとう！　これからもよろしく!!」



### 驚異的なスピードと足回り

1930年に量産が始まった八九式中戦車は、最高時速25キロ(路上)しか出せなかった。そこで自動車部は、エンジンを徹底的にレストア。新品以上のパワーを手に入れた。また、聖グロリアーナ戦ではおぼつかなかった操縦も、試合を重ねるたびに向上。プラウダ戦の頃には、驚くべき機動力を発揮した







### バレー部の復活を猛アピール

大洗女子同士で行われた練習試合では、本来の色で塗装された八九式中戦車。だが聖グロリアーナ戦では、砲頭部分と車体下部を覆うカバーに「バレー部復活！」の文字が書き加えられた。勢いのある筆跡には、バレー部復活にかける、一同の意気込みが込められているかのようだ



連載小説

聖グロリアーナ女学院、戦いの軌跡

# 聖グロリアーナ女学院×黒森峰女学園への道

鈴木貴昭

第２回



## 高貴なる義務と精神

会場の大スクリーンに表示されたトーナメント表を、食い入るように見つめる聖グロリアーナの生徒たち。

アナウンスとともに、そこに表示された新たな校名。それを見て、安堵のため息が漏れる。

「相手はBC自由学園です」

オレンジペコの報告に、ちょっと首を傾げるダージリン。

「大洗はまだかしら？」

「気になりますか？」

「少しね」

残っている枠は６つ。もし大洗女子がヨーグルト学園の対戦相手になれば、BC自由学園との試合の次に当たる可能性がある。当然、ダージリンの頭の中……いや、紅茶の園の生徒たち全員の脳裏には、BC自由学園に負ける自分たちの姿など、欠片もなかった。それは慢心ではなく、正当な実力の評価。英国式の冷徹な分析の結果だった。

そのとき、会場に歓声と悲鳴が響く。

「あれは？」

「黒森峰の相手が決まったみたいですね。えーっと、知波単のようです」

「すると、あの悲鳴は知波単の」

アッサムが、上からだと茶色の塊のように見える、知波単学園の生徒が集まっている場所に視線を流すと、意外にもそこには万歳とともに歓声を上げている姿があった。

「あれ、何で喜んでいるの？」

「あの学校の考えは、今一つよく分からないですね」

アッサムの疑問に、同じように疑問符を浮かべるオレンジペコ。

「悲鳴は、ほかのBブロックになった学校みたいです」

Aブロックには、去年優勝したプラウダ高校と、サンダース大学付属が。そして、Bブロックには準優勝の黒森峰と、聖グロリアーナが強豪校として配置されている。



Aブロックになった学校が歓声を上げているのを、プラウダ高校の生徒たちが憮然とした表情で見ている。
「去年優勝したプラウダがAブロックだったから、しかたないと言えばしかたないけど、できれば黒森峰もAブロックになって欲しかったです」
昨年の優勝校と準優勝校は、初戦で当たらないように振り分けられている。優勝校のプラウダ高校がAブロックになれば、準優勝の黒森峰がBブロックになるのは当然ではある。だが、やはり常勝黒森峰とは別ブロックになりたい学校が多いのは事実だ。
聖グロリアーナも、順当に勝ち進めば準決勝で黒森峰と当たる。
さっきまでの明るい表情から一転して、不安そうな様子になった周囲の生徒たちを見て、にっこりとほほ笑むダージリン。
「そうね、これで私たちが黒森峰のリベンジを阻んでしまうことになりますわね」
「「えっ」」
ダージリンの言葉に驚く生徒たち。
「本気で仰っているのですか？」
「あら、優勝を目指すのなら、黒森峰であろうと負けるわけにはいかないでしょう？」
「当然です」
アッサムが大きく頷く。
トーナメント表に目をやったダージリンが、何かを見つけて大きく笑みを浮かべる。
「最後にもう一度、大洗と戦うのもおもしろいですわね」
「え」
慌ててトーナメント表を見る一同、サンダースの対戦校に、大洗女子学園と表示されていた。
「大洗が決勝まで来ると？」

## 聖グロリアーナ女学院、戦いの軌跡

「来たらおもしろいでしょうけど……」
「大洗の相手は、あのサンダースです」
「一回戦でサンダースに当たるのは、むしろ運が良いと言えますわね」
「そうですね、サンダースは参加車輌の台数が増える、後の試合になればなるほど強敵になります」
「それに対してオールラウンドで強い黒森峰は、車輌数が少ない初戦でも、ティーガー、ティーガーⅡ、パンターと盤石の体勢で来るでしょう」
「その代わり重量級を揃えると、去年のような脆弱な地盤中心だと苦戦するかと」
「そうね、去年のプラウダの勝因は雨のお蔭という声もあるぐらいだし」
　対戦が先の強豪校の評価を続けるダージリンたち戦車道幹部、ノーブルシスターズにおずおずと質問するニルギリ。
「あの、BCへの対策は？」
「ニルギリさんは、今回が初の公式試合だったわね？」
「はい、この間の大洗戦が、練習試合としても初めてでした」
「初めての試合は、いかがでした？」
「いかが、とは？」
「何でもいいわ、感じたことをおっしゃってごらんなさい？」
　わずかにうつむいて、しばらく考え込むニルギリ。
　考えがまとまったのか、顔を上げると口を開く。
「……あの、全然教わっていた通りに進まないし、敵が変なところから出て来るし、その、どう対応したらいいのか」
　それを聞いて、笑みを浮かべるダージリン。
「その通りね。クラウゼヴィッツは、それを戦争論で、戦場の霧と命名したわ」
「戦場の霧？」
「そう、情報を制する者は戦いを制す。どれだけ事前に相手の情報を把握し、作戦を立案し、行動するか。でもね、確実な情報などまずありませんし、戦況は常に変化します。それに臨機応変に対応して、最適解を探し出す、それが指揮官の役割ですわ」
「今回は市街戦になってから、特に苦戦しましたね」
　アッサムが横から口を挟む。
「その通りね。相手に地の利と土地勘がある状態、これはとても恐ろしいわ。それに対抗するのは、常に冷静で、最適でなくてもすぐに行動することよ」
「そのためには、十分な訓練で考える前に体が動くようにすることですね」
　オレンジペコが、紅茶を飲みながら静かに言い放つ。訓練が増えると聞いて、一瞬寒気を感じるニルギリ。
「さて、BC自由学園の車輌は、オチキスH35、B1bis、M4A1、M5軽戦車でしたわね」
「はい、去年はそうでした」
　ダージリンの質問に、手元のメモをめくって答えるオレンジペコ。その言葉に含まれた内容に、軽く眉を上げるダージリン。
「今年は違う？」
「いいえ、噂では今年こそM4中戦車とM5軽戦車中心にしたいようですが、提携校からの支援物資がフランス戦車用ばかりなので、変化はない模様です」
「相変わらず会長派と副会長派で、派閥争いをなさっているみたいですわね」
　大きくため息をつくダージリン。
「そうですね、最近は副会長派の勢力が大きくなってきて、サンダースに接近しているようですが」
　首を傾げるアッサム。
「そんなことしたら、提携を切られたりしないの？」
「多分、サンダース側も接近されても困るだけかと」
「特にメリットないものね」
　手元の書類を、ぱらぱらとめくるオレンジペコ。
「あ」
「どうしたの？」
「はい、BC自由学園が連盟に、M10駆逐戦車の使用許可を申請しています」
「それは……」
「それが通ると少々問題ですわね」
　少し真剣な表情になったダージリンが、手にした紅茶のカップを静かに置く。
「はい、通常のM79徹甲弾でも距離500ヤードで、チャーチルの正面装甲が抜かれる可能性があります」
「高速徹甲弾なら？」
「えーっと、1500ヤードでも抜かれます」
「M10は紙装甲ですから、もし出てきたとしたら、最初に潰さないといけないわね」
「はい」
　M10駆逐戦車は、防盾こそ57ミリとそこそこの装甲があるが、砲塔側面や後方は25・4ミリしかない上に、軽量化でオープントップになっている。
　そのため高校戦車道ルールでは、安全面を理由として使用できない。現地改造で装甲板が天井として付けられたのもあるので、同様に改造を行えば大丈夫と解釈して申請を行ったのだろう。
　だが、現地改造車輌は本当に天井を載せただけで側面装甲との間に観測用のスリットがあり、砲塔が密閉されていない。完全に塞がない限り連盟は認可しないことは、あの手この手で保有車輌の出場を認めさせようとしてきた学校の中では常識となっていた。
　そのため、M4中戦車に改造するのが一般的だが、そうすると砲力が落ちる上に、M4は流通量が多い。比較的安価で程度の良い車輌が手に入るので、わざわざ改造する学校はほとんどない。
　結局、使い道がなく、M10のまま市場でダブついていたのを、どこからか手に入れたのだろうと思うダージリン。
　そこにおずおずと口を挟むニルギリ。
「でも、M10って、M4の76ミリ砲と同じですよね？」
「ええ、弾頭はね」
　にっこりとほほ笑むダージリン。
「？」
「薬莢は別物で、M4用よりも装薬が多いの。だから、威力はM10の方が上ですわ」
「そうなんですか」
「それに、BCの持っているM4は75ミリ砲タイプなの」

それを聞いて、オレンジペコがニルギリに言いたかったことに気が付いて口を開く。

「主砲交換はしないのでしょうか」

「M10の砲をM4に？」

「はい」

少し考え込むダージリン。

「……しないと思うわ。BCのM4は前期型で、76ミリ用の大型砲塔を載せるにはスペースが足りませんわね」

「E4型とか、小型砲塔に無理やり76ミリ砲を載せたものがありますよ？」

「M10の使用申請を出したということは、主砲交換はまずありませんわ」

本来M4が搭載しているのと同じ砲ではない上に、本来のM10でも砲が重すぎてフロントヘビーになっている。そこで後期型では砲塔後部にカウンターウェイトを積んでバランスをとっている。それを考えると、砲の換装には結構な手間が必要だろう。

そこまでするのには、相当優秀な整備班が必要となるが、ダージリンやアッサムも、BC自由学園の整備がそこまで優れているとは聞いていない。

なので、オレンジペコの疑問は、まずないと判断するダージリン。

「作戦はいつも通り。常に装甲の厚い正面を敵に向け、隊列を組んだ状態で敵陣を浸透突破、近距離から撃破を行います」

「了解！」

装甲は厚いが砲力の無い聖グロリアーナにとって、標準的な戦法を指示するダージリン。

聖グロリアーナが保有する歩兵戦車の最高速度は遅いが、不整地走行性能は高い。大洗女子との練習試合のように市街戦では多少苦戦するが、それ以外の戦場では歩兵戦車は案外使い勝手がいい。

隊列を維持して、敵に側面攻撃をさせないようにしつつ、攻撃力の高い車輌から撃破する。

「もう少し砲力があれば、別な手もあるんですが」

「コメットが入手できていたら」

アッサムとオレンジペコが愚痴をこぼすのを、ポンポンと手を叩くダージリン。

「ない物ねだりよりも、最後まで諦めないで、今ある戦力で勝利への道を考える。この間の大洗は良いお手本でしたわね」

それを聞いて、はっとするアッサムたち。

「さ、相手も決まったことですし、練習と調整に入りますわ」

「「はい！」」

ダージリンの号令に、起立をして返答する聖グロリアーナの生徒たち。

ちらっと会場に見えた大洗女子。その中の西住みほに視線をやるダージリン。

踵を返し、背筋を伸ばすと、女王のように会場から出て行く。

「よりによって、市街地戦とは」

「面倒なことになりましたね」

Bブロック一回戦会場、西ヨーロッパの都市を模した試合会場を前に、軽くため息をつく紅茶の園の住人たち。

「むしろ、大洗との練習試合が役に立ちますわ」

ほほ笑んで、試合会場を指差すダージリン。

「状況が良く似ていると思わない？」

「確かに」

試合会場は、舗装された道路と廃墟になった石造りの街。そして街へ続く道路わきには、密集して戦車も隠れるほどの高さの生垣やボカージュが続いている。

それを見て、眉をひそめるアッサム。

「ヴィレル・ボカージュの戦いだと、イギリスが負けますが」

それを聞いて、微笑みを大きくするダージリン。

「相手が黒森峰ならそうかもしれませんわね。でも、今回のお相手はBC自由学園ですわね」

「我々が逆にビットマンになる、と？」

「それも良いかもしれませんわ」

たった一輌で、イギリスの機甲部隊を大量に撃破した、戦車エースの戦いに思いをはせる一同。戦車道が目指す方向とは異なる使い方をされたとはいえ、その戦術には学ぶところが多い。特に、騎士道精神溢れる戦いは、欧州では男女問わず大人気である。戦車道でも、それらを模した試合会場が多く取り入れられている。

今回も、そういった試合会場の一つであろう。

「この試合会場では、横隊を組むのは無理ね。念入りに偵察をして、常に報告を欠かさないように」

「戦場の霧を少しでも減らすため、ですね」

「その通りよ、ニルギリさん」

「では、もう一度確認いたしますわ。向こうの砲力は？」

ダージリンの質問に答えるオレンジペコ。彼女は1年生ながら、操縦もうまく、また資料整理能力の高さから、ダージリンの補佐役として抜擢。こうして参謀的な役割を果たしている。

「はい、M5軽戦車の37ミリ砲M6では、こちらの戦車を抜くのは無理です。M4A1でも後ろを狙われない限りは、ほぼ大丈夫かと」

「それ以外は？」

「至近距離からでも、まず貫通されることはありません」

それを聞いて、にっこりとほほ笑むダージリン。

「では、こちらの攻撃は？」

「マチルダの2ポンド砲で、500メートルからM4A1の車体ならどこでも、砲塔は側面のみ抜けます。それ以外の車輌は、どこからでもお好みで」

マチルダですらBC自由学園の車輌を自由に撃破可能なのでは、チャーチルの6ポンド砲はもはや聞くまでもない。

笑みを大きくしたダージリンが、全員に訓示を行う。

「今回の戦いは、大胆、また大胆、そして常に大胆！　皆さんの健闘を期待いたしますわ」

それに大歓声で応える、聖グロリアーナの生徒たち。だが、一人オレンジペコのみ冷静に突っ込みを入れる。

「それはフランスの政治家、ダントンの言葉では」

「敵がフランス系だから、じゃない？」

その突っ込みを、軽く返すアッサム。

「ああ、なるほど！　ヴェルダンでフランスが負けた時の演説ですものね」

納得するオレンジペコ、だがアッサムが爆弾を落とす。

「相手はプロイセンだけど」

「それじゃダメじゃないですか……」

「お二人とも、おしゃべりはそこまで。試合開始ですわよ」

「「はい！」」

試合開始直後、聖グロリアーナの全車輌は、廃墟の街へと通じる道を進んでいく。

街道上を二輌、街道脇の牧草地を左右それぞれ一輌ずつのマチルダが、互いに援護しつつ先行して、偵察を行う。

傘状になった偵察線の後を、ダージリンのチャーチルと、残り三輌のマチルダが縦一列になって進む。

ダージリンの訓示のせいか、先行する車輌の動きは実に切れがいい。一輌が視界の開けるところまで全速で進み、その間もう一輌が後ろから支援をする。先行する車輌が目的地に到達すると、状況を無線で知らせ、後ろの車輌が全速で進む。

蛙飛びのように進む、マチルダ。

その無線から、まったく敵発見の報告が入って来ない。

「どうやら、敵は街で待ち伏せをしているようですわね」

「街だけに、ですか？」

ティーカップを持ち上げたダージリンが、アッサムの返答に一瞬きょとんとする。

自分が意図せずにダジャレを言ったのに気が付いたダージリン、こらえきれずに笑いがこぼれる。

「ま、街で待ち伏せ、うふふふふ」

「あの、笑っている場合ではないかと」

心配そうにオレンジペコが突っ込む。

「そ、そうですわね。でも、街で……うふふふふ」

笑いが止まらず、目じりの涙を拭うダージリン。

『敵発見！』



『こちらも敵発見！』

『4号車、前方500メートル、敵軽戦車らしき姿、後退中！』

そこに次々と飛び込んでくる報告。

それを聞くと、一転して真剣な表情になったダージリンが、全車輌へと指示を下す。

「全車前進。敵はこちらを、街に引きずり込もうとしています。私たちはあえて、その作戦に乗り、一気にフラッグ車を叩きます！」

『了解！』

エンジン音が一挙に大きくなり、加速するチャーチル。もうもうと砂煙が立ち上り、車輌の位置が周囲から丸見えになる。

敵が迂回して後ろを狙う可能性も考えられたが、現時点で左右の偵察が敵を確認していない以上、近くに別働隊はいない。ゆえに戦力を集中し、速戦を決断した。この大胆なダージリンの行動は、結果的に成功する。

後退していたBC自由学園のオチキスは、街に入り込む前に次々と撃破され、白旗を上げる。

そのまま先行していた車輌から、通信が飛び込んでくる。

『マチルダ3号車、市街へと突入』

『同じく5号車、指示を』

『マチルダ2号車、街に入りました』

それを聞いた瞬間、さっきのダジャレを思い出すダージリン。

「ま、マチルダが街に」

「ダージリン隊長、ご指示を！」

再び吹き出しかけたダージリンを、無理やりオレンジペコが正気に戻させる。

「まさかこんな落とし穴があるとは、予想できませんでしたわ」

「お願いですから、指揮をしてください」

オレンジペコが冷静に突っ込む。

咳払いをして、ごまかすダージリン。

「えー、こほん。偵察は最初の交差点まで先行、そこで後続を待ちなさい」

『了解！』

「ただし、敵を発見したら位置を報告の上、追撃を許可します」

その積極的な指示に、無線機の向こうから歓声が上がる。

「各員、大洗戦を思い出して。敵がどこから出てくるかは予想できませんわ。細心の注意を、しかし行動は大胆に！」

『了解！』

大洗女子戦とは違って倍の車輌数があるので、各部隊は二輌単位で互いに連携しつつ進撃が可能となっている。そのお陰で、奇襲を受ける可能性が大幅に下がっていた。

先行部隊が積極的に進む中、ダージリンも街に入ろうとした瞬間、最後尾車輌の周辺に砂煙が上がった。

『こちらニルギリ、敵攻撃です！』

「そのまま前進！　街に入りなさい」

『了解です！』

最後尾のニルギリ車が、街へと駆け込んでくる。超信地旋回で、チャーチルを前後反転させるダージリン。視界の隅に捉えた相手の車輌目がけて、攻撃指示を出す。

「撃て！」

『了解！』

素早く目標を捉えたアッサムが、逃げよ

うとする敵に砲撃を行う。
　砲塔を狙った弾が、ややずれて左の履帯を吹き飛ばす。
「装填急いで！」
「はい！」
　オレンジペコが、重い砲弾を華奢な見た目からは想像もつかないような優雅さで装填する。
「装填良し！」
「発射！」
　流れるような動作で、ただちに次弾を発射するアッサム。５００メートルを切った至近距離では、動きを止めた車輌など聖グロリアーナ隊長車の敵ではない。
　今度は狙い違わず砲塔の中心に命中。照準器の中で、特徴的なBC自由学園の緑と茶に塗られた車輌が大きく揺れ、停止する。
「お見事」
　双眼鏡で白旗を確認したダージリンが、アッサムを称賛する。それに対して、確認報告を行うアッサム。
「今のはM５でした」
「撃破報告も、オチキスとM５だけ、B１とM４はどこに？」
「後方攻撃をするには、M５では弱いですね」
「……すると、今のは街に追い込むための勢子侍わり、かしら？」
「多分」
「全車に連絡、おそらく敵フラッグ車は街の中に隠れている模様。奇しくも大洗戦と似たような状況になったわ。連携の強化を！」
『了解！』
「隊長、ここで待機していた方が安全ですが」
　オレンジペコが疑問を投げかけたのに対し、にっこりと笑って答えるダージリン。
「そうね、単に勝利するだけならそれで十分。



聖グロリアーナ女学院 戦いの軌跡

# 聖グロリアーナ女学院×黒森峰女学園への道

## 第2回



すでに相手の四輌を撃破して、残りは六輌。先行部隊だけでも、多分撃破可能だわ」

「だったら、なぜ」

「ペコ、紅茶の園の住人は、ノブレス・オブリージュの精神を持っていなければならないの」

「……高貴なる義務、ですか」

「そう、私たちは貴族ではないけれど、誇り高く振る舞い、戦いでは先陣を切ることで皆の模範となるべきなの。それが皆からの尊敬を必要とする人間の義務ですわ。勝利が転がり込んでくるのを、ただ待つようでは真のレディとは言えませんわね」

単純に勝利を掴むだけなら、オレンジペコの言う通り、このままダージリンの隊長車が安全な場所で待機しつつ、先行する偵察部隊からの撃破報告を待つのがベストであろう。今の攻防で、後方からの攻撃を警戒していたといえば、消極的試合を取られることもない。

だが、あえてダージリンはBC自由学園が待ち構えているであろう、街の中心部に進むように指示を出す。

指揮官先頭、それがノブレス・オブリージュ。安全なところでのうのうとしていては、聖グロリアーナの伝統を下級生に伝えることはできない。

「ペコ、見ておきなさい。あなたたちがいずれ引き継ぐことになる伝統という物を」

そう言うと砲塔の車長用ハッチから上半身を乗りだし、勢いよく号令をかけるダージリン。ベッドフォード・ツインシックスエンジンが轟音を奏で、勢いよく前進する



チャーチル。

それに続くのは、三輌のマチルダ。最後尾には、ニルギリのマチルダが砲塔を後ろに向けて後方警戒を行っている。間に挟まる形の二輌も、それぞれ左右を警戒している。

耳をすまし、目を凝らして、どんな敵の動きも見落とさないように、周囲を見回すダージリン。

その間にも、刻々と入る先行部隊からの通信。だがどの車輌からも、発見報告が入らない。

「どこに隠れているのかしら？」

「街の外に出たのでは？」

ダージリンの独り言に反応するオレンジペコ。彼女の補佐役としての役割には、ダージリンにいろいろな可能性を提示する、という物がある。常識的な意見のみならず、可能性としてありそうな物を提示し、指揮官の思考が硬直するのを防いだり、見落としを少なくするためだ。

そのうえで、余計なことまで言って、指揮官が迷って混乱しないように、言葉を選ぶ必要がある。

「そうですわね、あえて有利な場所を捨てて、こちらの裏の裏をかく、ということもあるかもしれませんわね」

「偵察を出しますか？」

「……いいえ、このまま進んで先行部隊に合流します」

「了解しました」

一瞬迷いを見せたダージリンが、決断を下す。

『2号車、敵おそらくBI、広場から全速で後退中！』

そこへ飛び込んでくる発見の報告。BIがいるということは、敵の主力はそこに集まっているはず。

「広場？」

「2号車なので、進路右側、中央広場です！」

オレンジペコの報告で位置を掴むと、瞬時に指示を出すダージリン。

「3号車、直進して右折、5号車、即時右折」

『了解』

敵を発見した2号車と、その支援の6号車に向けて、残りの先行部隊を包囲するように動かすダージリン。

同時に後続の三輌のうち、最初の一輌をその場で右に展開。街の外から包囲に向かわせ、次の一輌を左の路地を進ませ、今まで前進していた通りを、ニルギリを連れて加速する。

2号車を扇の要として、残りの車輌で包囲するように展開させ、側面からチャーチルが攻撃を仕掛ける作戦であった。

だが、全速で一つの通りを過ぎた直後、後続のニルギリ車が吹き飛ぶ。

「ニルギリ!?」

側面装甲を抜かれその場で擱座、白旗を上げるニルギリ車。

「マチルダの砲塔が抜かれた!? 減速反転！」

時速25キロ近くで走行していたチャーチルを急減速させ、履帯が切れる危険性があるので、普段は行わない超信地旋回を再び行い、その場で180度反転する。

「M10でしょうか？」

反転中にオレンジペコが問いてくるが、真剣な顔で後ろを見ているダージリンの耳には入らない。

その瞬間、別方向からかすかな履帯の音がするのに気が付き、振り向くダージリン。

そこには、路地から出てきたM5軽戦車の姿が。

「包囲するつもりが、逆に包囲されるとは。でも、このチャーチルの装甲を舐めないことね」

装填手兼通信手のオレンジペコが、全車輌に集結するように指示を出しているのを聞きつつ、そのまま旋回を止めずにさっきまで後ろだった方向へ向かうように指示するダージリン。

「後ろの車輌は!?」

「M5の37ミリでは、チャーチルの後部すら抜けないわ、それより装填に集中しなさい」

動揺するオレンジペコに対し、普段とは

# 聖グロリアーナ女学院×黒森峰女学園への道　第2回

## 聖グロリアーナ女学院、戦いの軌跡

逆にダージリンが彼我のスペック差を指摘して安心させる。

「はい！」

ニルギリを攻撃した車輌が路地から出て来るのが早いか、チャーチルが反転して攻撃位置に移動するのが早いか、じりじりするダージリン。

「反転終了！　全速！」

「了解！」

操縦手のルフナが速度を上げる。

砲塔を真横に向けさせるダージリン。

「路地の真横で停止、同時に発砲！」

『了解』

アッサムとルフナが気合の入った返事をする。それを聞いて、笑みを大きくするダージリン。

「ペコは発射と同時に再装填、次の攻撃に備えて」

「了解、それより車内に入られたほうが」

大洗女子戦での西住みほを思い出したのか、ダージリンが体を車外に出したままなのを心配するペコ。

その声に微笑みつつ、号令をかけるダージリン。

「今よ！」

急停止するチャーチル、40トン近い車体が大きく揺れ、その横を後方のM5軽戦車からの砲撃が通り過ぎる。

揺れが収まりきる前に、発砲するアッサム。猛烈な煙で周囲が隠され、路地の先から鈍い金属音が響く。

「次弾装填！」

「はいっ……装填良し！」

「撃て！」

見えない煙の中へ攻撃命令を下すダージリン、迷わず発射するアッサム。

同時に、主砲防盾と砲塔後部に何かが命中する轟音が響く。一瞬首をすくめるダージリン。

次の砲弾を装填しようとするオレンジペコ、その耳にアナウンスが飛び込んでくる。

『勝者、聖グロリアーナ女学院！』

「え？」

瞬間動きを止めたオレンジペコ、慌てて開いたままのハッチから顔を出す。

正面の煙がおさまると、路地の奥の方に、白旗を上げたM4中戦車の姿が。

「どうやら、あれがフラッグ車だったようですわね」

「……そうですね。でも、どうしてM4がマチルダの砲塔を抜けたんでしょうか」

「主砲が交換されているわ」

「え？」

オレンジペコが目を凝らすと、確かに擱座しているM4中戦車の主砲は、短い75ミリ砲ではなく、その倍ぐらいはありそうな長い物になっていた。

「あれは、M10の3インチ砲？」

「おそらくそうですわね。きっと前後から軽戦車で監視をしていたんでしょう。それが、待機していたあの改造シャーマンへ連絡をしていた。……BC自由学園も勝つために努力していたということですわね。私たちと同じく」

結局、聖グロリアーナ側で撃破された車輌はニルギリの一輌のみ、それに対しBC自由学園はフラッグ車の改造M4A1のほか、追撃をしていたマチルダにより、M5とオチキスが一輌ずつ撃破され、残ったのはB1bisとオチキス、M5各一輌ずつであった。

整列して、互いの健闘を称えあった後、トーナメント表に目をやるダージリン。

それに声をかけるオレンジペコ。

「次は、ヨーグルト学園とワッフル学院の勝者ですね。今からなら試合に間に合いますので、車を回します」

だが、ダージリンの予想外の質問に驚くオレンジペコ。

「ところで、大洗とサンダースの試合会場は？」

「お待ちください……C会場です」

驚きを隠しつつ、手元のクリップボードを、ぺらぺらとめくって確認するオレンジペコ。

「間に合うかしら？」

「まさか、見に行かれるのですか？」

「ええ」

しれっと答えるダージリンに、驚きながらも答えるオレンジペコ。

「……時間的には大丈夫ですので車を回します」

「紅茶セットも忘れずにね」

「車に搭載してあります」

「そう、それは良かった」

にっこりとほほ笑むダージリン。

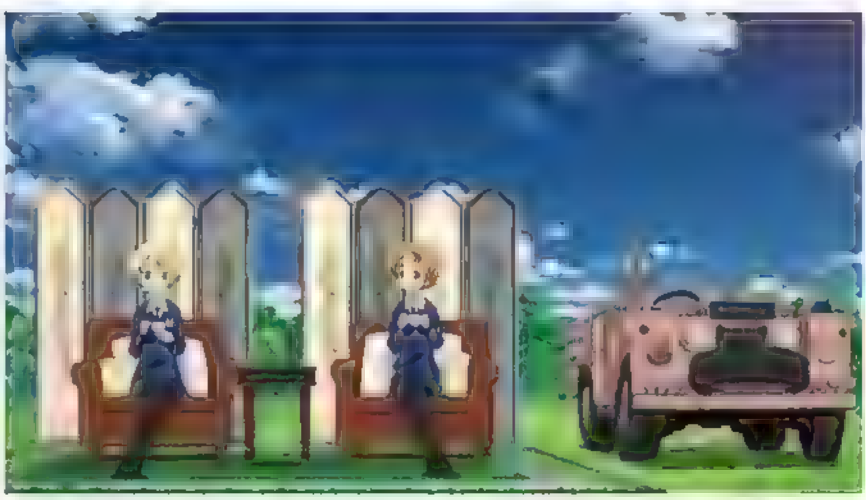
「あら、今日はシリーズIなのね？」

ピンク色に塗られた特徴的な四輪駆動車は、アフリカの砂漠でイギリスのスペシャルエアサービス（SAS）が活用し、ピンクパンサーの名で有名になった車輌。

それは、オレンジペコが移動用に用意したものであった。もっとも、運転するのはダージリンなのだが。

いつの間にか同乗していた情報処理学部第6課のグリーンが、地図を片手に見学場所へと案内する。

案内された先は、試合場が一望できる丘の上。ここは一般の観客や応援団用のひな壇とは違い、参加チームのみの観戦場所だが、ほかの学校の姿は見えない。







「次のお相手くらいはいるかと思いましたが」
「マジノとアンツィオは、B会場で今試合中ですね」
ダージリンの疑問に答えるグリーン。
「あら、じゃあ事前調査はしないのね」
「もう一つ観戦場所があって、そちらには黒森峰が来ています」
「それは珍しいですわね」
「うちは眼中にないということでしょうか」
ちょっと眉をしかめるオレンジペコに、苦笑するダージリン。
「まあ、西住流でも人の姉、ということでしょう」
そう言いつつ、ダージリンにファイルを渡すグリーン。
「ヨーグルト学園とワッフル学院の報告書です。戦力分析も更新しておきました」
「ありがとう、ほかの学校も」
「ええ、当然です」
「あっ、試合開始です！」
オレンジペコが会場を指差すと、花火が上がり、両校の戦車が動き出したのが見えた。それを見ると、一礼して下がるグリーン。
「じゃあ、お願いするわね」
「お任せください」
四輪駆動車の荷台から、折り畳みの空挺用バイクを降ろすと、それに乗って去って行くグリーン。
その間に、森の中へと進む大洗女子の車輌。だが、数に倍するサンダース大学付属が、偵察に出ていた大洗のM3中戦車を前後から挟み込む。
「大洗側は、釣り出すつもりが釣り出されたみたいです」
「そうね、ところであのおもしろい塗装が無くなっているけど、どうしたのかしら。今回はあのM3にあわせて、ピンクパンサーにしたんでしょう？」
「いえ、まあ、はい」
ピンク色塗装のM3中戦車を砂漠塗装だとダージリンが信じているのを、否定するのも面倒になったオレンジペコが生返事をする。
「でも、あのマークは何かしら？」
「えーっと、ピンクのウサギですね」
「まぁ、デザートラッツ！」
それを聞いて、ダージリンが大喜びをする。北アフリカで奮闘したイギリスの第七機甲師団、その愛称は砂漠の鼠、デザートラッツだった。だが、冷静なオレンジペコの声がそれを切って捨てる。
「ウサギはラビットです」
「グリレス大目という意味では姉妹のようなものですわ」
即座に切り返すダージリンだったが、その頬は少し赤い。
「あのM3意外と粘りますね」
「大洗のⅣ号と八九式も向かっているようね」
双方走りながら撃つが、当然当たらない。それでも、徐々に逃げ場を失って追い詰められていくM3中戦車。
観客席の方にある巨大スクリーンに目をやるオレンジペコ。そこには九輌が森の中で包囲しようとしている姿が映っていた。
「さすがサンダース、数に物を言わせた戦い方をしますね」
それを聞いて、笑みを浮かべるダージリン。
「こんなジョークを知ってる？ アメリカ大統領が自慢したそうよ。我が国には何でもあるって。そうしたら、外国の記者が質問したんですって。地獄のホットラインもですか、って」
唐突なジョークに目をぱちくりさせるオレンジペコ。
「あの動き、なかなか興味深いわね」
「はぁ……」
ダージリンの言わんとすることが今一つ腑に落ちないオレンジペコ。
指さす先には、追撃するうちの二輌がわかれて、南南西に先回りする様子が映っていた。
「サンダースはよく聞こえる耳を持っていらっしゃるようね。大洗はここからどうするつもりかしら？」




## 空のつぎは水に挑戦！

# 海を乗り越える戦車たち

**私こと秋山優花里が、めずらしい戦車を解説する本講座。今回は、果敢にも海や河川に挑んだ、水陸両用戦車の数々をご紹介したいと思います。**

### 水上も駆ける戦車、浮航戦車！

皆さん、春はいかがお過ごしですか？　お花見は戦車の上がベストだと思う秋山優花里です。

空のつぎは海！　ということで、今回は水陸両用戦車をご紹介したいと思います。

えっ？　現代の戦車は浮かべないけど、水の中には潜れるですって？　その通りです！

蝶野教官の愛車「10式戦車」もちょっとした準備をすれば水の中に潜れます。でも」しって現代の戦車じゃ当たり前の光景ですが、昔はけっこう大変なことだったんですよ。

なんといっても昔の戦車はハッチが開放式。水の中に潜ろうものなら水が入ってきて大変だったんです。アンツィオ高校戦前の練習で、カメさんチームの「38(t)」が渡河訓練をしていた時、操縦手のハッチから水が入ってきたと、小山殿もおっしゃっておられました。

第二次世界大戦までは車体上面まで防水仕様にすることは技術的に難しく、川を越える時は決勝戦のように浅瀬を渡る必要があったんですね。でも、渡河する場所が限定されているのはとっても不便。そこで川や沼を簡単に越えることができる戦車が求められたのです。

ここで登場するお方がJ・W・クリスティー殿であります！　皆さん覚えておられますよね？　忘れてしまわれた方は、前回の講座をご覧いただくと良いかと思います。

クリスティー殿は、1921年に水に浮かべる戦車を、なんと個人で試作されたのです！　すごいですよね、尊敬しちゃいますよね！　この戦車は砲塔のない自走砲タイプで、側面外側にコルクを詰めて浮力を作りスクリューで進んだそうです。クリスティー殿は続けて、浮航戦車を数タイプ試作し、1925年にはハワイでデモンストレーションも行います。でも、アメリカでは採用に至りませんでした。

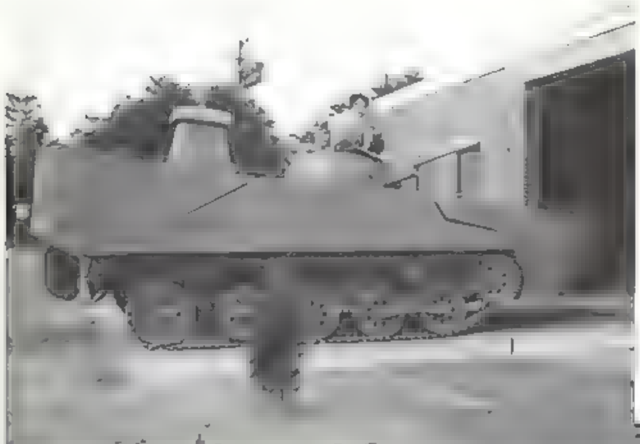
クリスティー殿、かわいそうであります。

しかし1931年、イギリスが後に続きます。豆戦車カーデンロイドを改造した水陸両用戦車の登場です！

一般にメーカー名をとって「ヴィッカース水陸両用戦車」と呼ばれるこの戦車、豆戦車の軽さ(重量3トン級)を活かして水に浮かぶことができます。水上ではスクリュー1基で進み、方向転換は船のように舵を使ったそうです。

さすがは海洋国家イギリス！　であります。

この戦車は画期的な偵察戦車として世界中に販売されましたが、イギリス本国ではあまり評価されませんでした。寂しいですよね。



**特二式内火艇**

1942年に制式採用された、日本海軍の特型内火艇。九五式軽戦車をベースにした車体に、二式軽戦車の砲塔を組み合わせており、さらに防弾ガラスのついた展望塔も装備された。初の実戦は1944年6月のサイパン島の戦いで、日本海軍の第五根拠地隊に約10輌が配備された。なお日本海軍では、本車を艦船の一種として分類。艦船名簿に登録され、数量も「隻」と記載された

写真提供：吉川和篤



**ヴィッカース水陸両用戦車**

イギリス・ヴィッカース社により2輌のみ試作され、それぞれ「A4E11」、「A4E12」と名付けられた水陸両用戦車。水密構造の車体と側面に装着された浮力材、後部中央にあるスクリューと舵により、優れた航行能力を発揮した。イギリス軍には採用されなかったものの、ヴィッカース社は40輌ほど生産。中国やソビエトなど数ヵ国に輸出された

写真提供：グランドパワー（ガリレオ出版）



## LVT(A)1

1943年11月、装甲のないLVT1がタワラ島の戦いにおいて、多大な犠牲を払った戦訓をもとに開発された、本格的な水陸両用戦車。最大12ミリの装甲が施されており、37ミリ砲も上陸支援に威力を発揮した。また武装を強化したLVT(A)4は、サイパンの戦いにて活躍。その後、約1800輛も生産され、硫黄島や沖縄の上陸作戦などで先陣を務めた

写真提供：グランドパワー（ガリレオ出版）

ですが、捨てる神あれば拾う神もあります！「ヴィッカース水陸両用戦車」に注目をした国があったのです。その国は、戦車王国ソビエト！湿原や湖沼が多いソビエトでは、とっても便利な戦車だったんですね。

ソビエトではコピー戦車「T-37」を生産しただけではなく、車高を低くし水上での安定性を増した改良型「T-38」、拡大発展版の「T-40」と、水陸両用戦車を次々と生み出しました。ただし元が豆戦車なので、武装は機関銃のみでした。

それにしても、空挺戦車に水陸両用とソビエトの戦車開発にかける意気込みは熱く、そして素晴らしいものがありますよね！

## 深く静かに潜航せよ！潜水戦車

これまでご紹介したのは、「浮航」式の両用戦車ですが、別タイプがドイツで登場するんです。その理由は、世界一巨大な戦車壕とも言われる、ドーバー海峡です。

1940年、西方電撃戦で勝利したドイツでしたが、イギリスに攻め込むには戦車が海を越える必要がありました。まずは従来通りに戦車を浮かべようと、重量約9トンの「II号戦車」に、ボートのようなフロート（浮舟装置）をスッポリと被せます。泳げない人に、浮き輪を持たせる感じですね。

水上では2基のスクリューで進みます。スクリューは履帯の誘導輪の動きをギアで伝える仕組み。スクリューが2基あれば舵がなくても水上で進路を変えられます。しかし、浮航ユニットは「II号戦車」の倍もある大きさで、取り付けがとっても大変！上陸後に外すのも一苦労でした。

浮くのが大変なら潜ってしまえ！ということでドイツでは重量20トン級の「III号戦車」と「IV号戦車」を改造した"潜水戦車"の研究を始めます。

ハッチは革等を使って防水仕様にし、ホースを海面まで伸ばしてエンジンの吸気を行い、深度15メートルの海底を走る予定でした。

あぁ、海底すら戦車が活躍する舞台となりえるとは……ただ、海底では前が見えなかったそうなので、操縦はとっても大変だったのではないでしょうか？

そのうえ、イギリス上陸作戦「ゼーレーヴェ」は中止されてしまいます。代わりに潜水戦車たちは、1941年の独ソ戦でついにデビュー！海ではなく、国境のブーク川の渡河に成功したそうです。

## 海へ乗り出す戦車たち！

さて、水陸両用戦車を求めたのは欧州だけではありません。島国である日本でも熱心に開発が行われていました。

1926年、石川島自動車（いすゞ自動車の前身）が川底を走る戦車を試作。その後、浮航式の試作車も作られ、1933年から三菱自動車も加わり「SR」という名の試作車が4タイプも作られます。しかし陸軍は採用を見送ってしまいます。水陸両用戦車、受難の歴史です。残念であります。無念であります。

ところがここでも救世主が登場！なんと日本海軍が、この戦車に注目したのです。太平洋の島々で戦う海軍には、水陸両用戦車は魅力的だったのですね。こうして誕生したのが「特二式内火艇」、秘匿名「カミ車」であります！

内火艇とはエンジン（内燃機関）を持った小型船のことです。戦車を艇と呼ぶなんて、とっても日本海軍っぽいですね。

この「カミ車」は世界に類を見ない独創的な水陸両用戦車です！浮かぶためにフロートを付けるのは「II号戦車」と同じですが、「カミ車」では前後分割式を採用！比較的簡易に着脱が可能になりました。水上航行は2基のスクリューで行い、多少の波でもへっちゃら。

すごいことに、潜水艦の上甲板に搭載できるように、エンジンも取り外し可能。潜水艦で忍び寄り、浮上後にエンジンを取り付け、奇襲上陸を敢行する計画でした。

武装も37ミリ砲を搭載し、上陸後は本格的な軽戦車として運用できます！ただし、浮かぶために重量は約9.1トン（陸上時）と軽く、装甲防御力は残念ながら強くはなかったようです。

1942年に完成した「カミ車」ですが、太平洋各地で普通の戦車として戦いました。

1944年のレイテ島攻防戦での増援時も、通常の輸送船によって陸揚げされ、その海上航行能力を発揮できませんでした。本来の使い方をされなかったのは空挺戦車同様、日本戦車の宿命だったのかもしれません。悲しい限りです。

また発展型の47ミリ砲搭載、「特三式内火艇」も少数生産され、その改良型の「特五式」も開発されましたが、いずれも実戦には参加しませんでした。

一方、アメリカでも太平洋で使うため水陸両用車輌の開発が始まります。

その原型となったのはクリスティー殿の試作車ではなく、1935年にフロリダ在住の技術者ドナルド・ローブリング殿が作った水陸両用トラクター、「アリゲーター」でした。

彼は、湿地帯が多いフロリダで使える車輌として、この水陸両用トラクターを作ったそうです。

1939年、アメリカ海兵隊がこれに注目。兵員上陸用の装甲車として開発が始まります。これが1941年にデビューした「LVT1」であります！

この「LVT」シリーズはオープントップの輸送車ですので、厳密には戦車と言い難いのですが、すぐに砲塔を搭載したタイプも登場するんです！まず「M3スチュアート」の37ミリ砲塔を搭載した「LVT(A)1」が作られ、1944年には大型砲塔に75ミリ榴弾砲を搭載した「LVT(A)4」が登場、上陸作戦の火力支援に活躍しました。

この「LVT」の特徴は航行装置にあります。ほかの水陸両用戦車と違いスクリューではなく、履帯に水かきが付いていて、陸上と同じように履帯を回して進むんです。しかし、浮航タイプの宿命で、防御力が不足していました。

## 水陸両用戦車の決定版！その名はDD！

これまでご紹介してきた水陸両用戦車は、生産に手間がかかる専用車輌でした。そしてドイツ潜水戦車以外は浮航タイプのため、どうしても装甲を厚くすることができませんでした。難しい問題であります。

そこで既存の戦車を、もっと簡単な改造で水陸両用にできる方法はないか？と考えた人物がいました。ハンガリー出身の、ニコラス・ストラウスラー殿です！

イギリスに渡った彼は、当初、「クルセイダー巡航戦車」などの側面に、着脱式のフロートを取り付けることを考えます。「特二式内火艇」に似ていますよね。



**シャーマンDD**

1944年6月6日に行われたノルマンディ上陸作戦に備えて、イギリスで改造されたM4シャーマンの派生型。砲身を前方に向けたままで、最大4ノットの航行が可能。車体を覆う防水スクリーンは15分ほどで展開できたうえ、上陸後は速やかに取り外せた。ノルマンディ上陸作戦以外では、フランス南部への上陸を試みたドラグーン作戦に投入。使用された大多数が上陸に成功した

写真提供　グランドパワー　（ガリレオ出版）

でもこの方法は取り付け作業が大変なうえ、波のある海では実用的ではありませんでした。

そこでストラウスラー殿は発想を転換！　固定式のフロートではなく、防水製の厚手布で車体周囲を覆い、浮力を生み出す方法を考えます―

車体上面すべてにスクリーンを張るので、ハッチなどを水密仕様にしなくても平気。布ですので、陸に上った後は簡単に畳めます。

まさにコロンブスの卵！　天才であります！　こんな簡単な装置で重い戦車が浮ける理由を冷泉殿に聞いたところ、アルキメデスの原理とかをいろいろ説明してくれたのですが・・

それを聞いていた武部殿が『お風呂で手桶が浮かぶのと一緒ね』とスパッと言ってくれて納得できました。

さて、このアイデアは1941年、「テトラーク軽戦車」で試験が行われ、結果は上々。翌年、「バレンタイン歩兵戦車」を改造した「バレンタインDD」が完成します！　ちなみにDDとは「Duplex Drive」、二重駆動＝水陸両用を意味します。

そして1943年、より強力な戦車「M4シャーマン」のDD化が始まります。この決定には「へんてこ戦車の父」と言われるパーシー・ホバート少将が関与したと言われています。

ホバート殿の名前も覚えておいてくださいね。

航行は「Ⅱ号戦車」同様、誘導輪の回転で2基のスクリューを動かします。

この「シャーマンDD」こそ水陸両用戦車の決定版なんです!!　なんといっても実力ある中戦車が、簡単な改造で海を渡れるのです。実際、1944年のノルマンディ上陸作戦で海からの出撃に成功！　海岸での戦闘に大活躍します！

ただ有名なオマハ・ビーチでは、アメリカ第741戦車大隊のように29輌中、27輌が水没してしまう悲劇も。これは上陸日の海が荒れていて、危険を回避するため、5000ヤード（約4570メートル）から発進する指令が出たそうですが、オマハ・ビーチでは6000ヤード（約5500メートル）からDD戦車が出発したそうです。

私だったらとてもDD戦車たちに、そんなことはさせられそうにありません……とても悲しいです。

一方、隣のユタ・ビーチでは3000ヤード（約2700メートル）の距離から発進した28輌全部が上陸に成功し、海岸線で大活躍！　素晴らしいです!!

〝ブラッディ・オマハ〟と呼ばれたアメリカの大損害も「シャーマンDD」が少なかったのが理由の一つと考えられています。

このように、強力な火力と装甲を持つ「シャーマンDD」は、上陸したばかりの連合軍にとって、とても頼りとなる存在！　その後も、ライン川やエルベ川の渡河作戦にも参加します。史上もっとも活躍した水陸両用戦車と言えますね！

## 現代の水陸両用戦車

第二次世界大戦後も、水陸両用戦車は活躍を続けます。

ソビエトでは「PT-76」という、浮航型の軽戦車が登場します。重量約14トン、76ミリ砲搭載のこの戦車は、手軽な軽戦車として世界中に輸出され、ベトナム戦争にも参加しました。

この「PT-76」に影響され、前回紹介したM551「シェリダン」も、開発途中で浮航能力を付与されたそうです。

それに「LVT」シリーズも発展を続け、28人も乗れる大型の「LVPT7（現AAV7）」は、現在でも生産が続いています。

そして戦後の戦車は技術精度も上がり、完全な水密能力を持っています。今ではほとんどの主力戦車が、車長ハッチに見張りと吸気を兼ねた筒「カニング・タワー」を設置し、エンジン用の煙突を付ければ水の中に潜れるようになりました。戦車はすべて〝潜水戦車〟に進化した―と言えるのではないでしょうか？

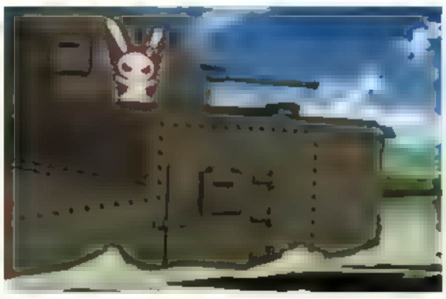
そう、水を克服する「水陸両用戦車」とは戦車の発展にとって、一つの到達点だったのです！

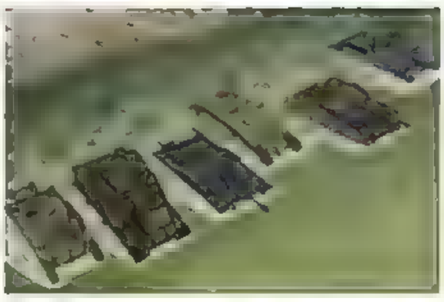
いかがでしたか？　「水陸両用戦車」の歴史と素晴らしさ。ご理解いただけましたでしょうか？

それでは、次回の戦車講座でお会いしましょう！

## もっとも危険な戦車の渡河作戦

戦車にとって河川は、最大の障害物。兵員や軽車輌であれば簡易な架橋や舟艇での渡河も可能だが、戦車では重量を支える耐久力や浮力が要求されるからだ。また渡河中に攻撃されると反撃は難しく、多大な損害を出す恐れもある。実際に、1943年に起きたドイツ軍に対するソビエト側の反攻作戦「ドニエプル川の戦い」では、ソビエト軍がヨーロッパ有数の大河、ドニエプル川を強行渡河。いかだを組んで戦車を輸送したが、ドイツ軍の猛反撃を受けて大損害を被った。それでもソビエト軍は、物量にものを言わせてドニエプル川を突破。キエフ奪還の足がかりを作った。なお現代の戦車は、シュノーケルの装着や架橋する特殊車輌の使用により、容易な渡河を可能としている。





結束の固い大洗女子は、M3中戦車を見捨てることなく救出。これがなければ、M3中戦車がエレファントなどを、撃破することはなかっただろう



水陸両用戦車
えと文/モリナガ・ヨウ
今回は海や川も進むことのできる戦車です
ドイツ
II号浮航戦車。
ボート、すごいデカイぞ
はめこむ穴の開いた巨大ボートに、II号戦車を装着して、浮く。
ごろごろ
現実的アイデアでしょ
奇襲を考えれば潜水だ。III号潜水戦車
外はよく見えなさそうだ…。
ウキから空気をもってくる。
☆イギリス軍は、戦車のまわりを防水布で囲んで浮力を得る方式を考えた。布バケツみたいな？
はじめ、前号登場のテトラークでやってみたらうまくいった！
スクリュー
テトラークDD
テトラークは履帯が曲がるから、かじがきれるのだ
ゴムチューブをふくらませて布を立たせる仕組み。
ぷー
たたむとこんな感じ。
バレンタインDD
スクリュー2基。
動力はアイドラーホイルから伝達。
スクリューの角度がかわってかじがきれる。
車長がつかまる棒
車長が立つ台
船っぽいランプ
圧縮空気タンク
この竿は'tiller'＝「舵柄(だへい)」。これでスクリューを左右に動かす
ノルマンディー戦で実戦投入されたシャーマンDD。
下の方は念のためシート3枚重ね。
外すとこんな。
あとで荷物置きに便利。
底の部分はユカが増設されている。
コマンダーは台の上に立って頭だけ出して操作する。
えー!?
車内から外は見えないし
日本軍も水陸両用の特二式を実戦に使用している。
フロート外すとさみしい姿に
戦車に行かれぬ場所はないのであります!

第2回

# ライバルチーム研究

**全国有数の戦車保有数を誇る、サンダース大学付属高校を始め、1回戦で健闘したボンプル学園&マジノ女学院を紹介。知られざる各校の側面やチームの事情を、クローズアップしてみよう。**

## サンダース大学付属高校
Saunders University High School

佐世保を母港とした、アメリカのメリーランドに提携校がある戦車道名門校。名門私立大学であるサンダース大学の付属高校で、ほかに幼稚園、小学校、中学校、短大が存在する。もともとは、長崎に作られたアメリカ人居留地向けの学校で、学園艦の中でも歴史が古い。その後、佐世保に移動して同地に駐留しているアメリカ人向けのアメリカンスクールとなったが、一般にも開放され日本人も通学するようになった。学園艦建造後は完全に日本の学校となり、アメリカの提携校と交換留学生を行き来させるようになった。そのため、学園艦でアメリカの提携校を訪問する行事も毎年行われており、これは双方の学園艦がサンディエゴかハワイで落ち合うことが多い。

戦車道は大変活発で、豊富な資金力を背景に全国の高校で一番多く戦車を保有している。保有台数が多いだけではなく、車輌の稼働率も極めて高い。これは、優秀な機械科や戦車工学科の生徒がいる上に、少しでも調子が悪い個所は速やかに予備部品へと交換する体勢が取られているからである。M4中戦車系列だけで、常に50輌以上が稼働状態にあるといわれ、バリエーションも豊富で主要なタイプは一通り保有しているとも。また、独自改造によって、17ポンド砲を搭載してファイアフライ相当となった車輌も運用している。将来的には、ファイアフライ相当型以外の全車輌を、履帯幅の広いE8タイプへ改造することを検討している。しかし懸架装置をVVSSからHVSSに変更する手間や、従来型車輌を好む生徒たちからの反発もあり、改造は一部車輌のみにとどまっている。またいくら優秀な機械科、戦車工学科の生徒たちといえども、大量の車輌を稼働状態にする作業に大部分の時間を費やしているため、改造まで手が回らないためでもある。M4中戦車以外にも、M3やM5軽戦車系列も保有しており、訓練や偵察用に使用している。艦内のジャンクヤードには、いろいろな種類の稼働状態にない車輌が相当数あるとの真相不明な噂がある。これは当のサンダースの生徒たちですら、ジャンクヤードの車輌までは把握していないためという説が信ぴょう性を得ている。また、これら戦車以外にも多くの車輌を保有しており、完全に機械化がされたその移動風景から「サンダースはトイレに行くのにも車輌を使う」とまで言われている。

戦車道履修者は500人以上おり、1軍から3軍(サンダース内部では、2軍がある艦のブロック位置から87師団、3軍は同様に91師団との呼び方もある)に分かれており、その数倍の人数が機械科、工学科で保守整備を行っている。ほかにも情報科が各種情報収集と分析、家政科が炊事洗濯などを協力。吹奏楽部やチアリーディング部なども各種応援に参加するなど、学校の大多数の生徒が何らかの形で戦車道に協力している。

基本的な戦術は、火力を重視した積極的機動防御。敵の攻撃を弱い正面で受け止めた前面部隊が緩やかに後退。その間に後続の主力部隊が正面を強化、同時に敵の左右から十字砲火を行い、包囲殲滅するのが主流となっている。それには敵戦力の的確な把握と、発見と同時に全車輌へ連絡し、有機的に全部隊が動くことが必要なので、偵察と通信に極めて力を入れている。そのため、情報科の生徒が車長になることが多い。特に後続の主力部隊には、強力な火砲を有したファイアフライなどの車輌と優秀な砲手を配置。遠距離から確実に敵の撃破を狙う。ただし、この戦法は参加車輌数が少ない試合などでは効果的に機能させるのが難しく、苦戦を強いられることもある。

学校の気風としては、ルールとマナーを尊重し、フェアプレイの名の元に正々堂々と戦うことを非常に好む。ただし徹底的に相手を分析し、その弱点に対して半端な戦術など無視した圧倒的な物量で叩き潰すため、聖グロリアーナなどからは「野蛮な戦い方」と評されている。

## サンダース大学付属高校の選手たち



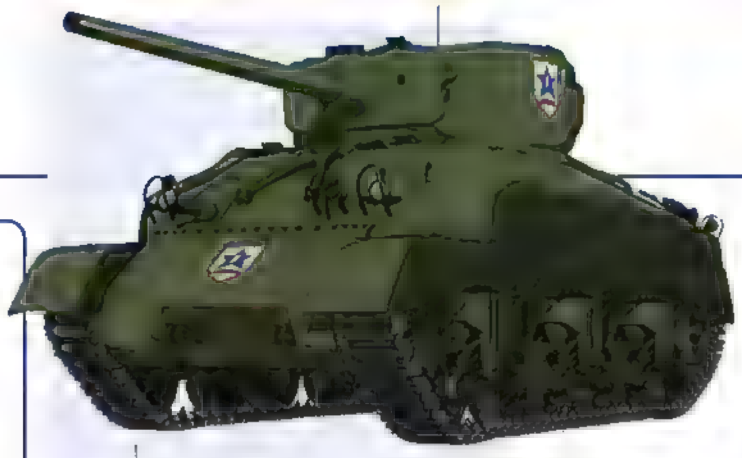
### ナオミ
血液型がAB型の17歳。成績はトップで、得意科目は数学。だが、音楽が苦手である。女子寮に住んでおり、お菓子はシャーベットが好物。コーラも好んで飲んでいる。座右の銘は「生兵法は怪我の元(A l tt e learning is a dangerous thing.)」である

### アリサ
佐世保市出身で、女子寮に住む16歳。血液型はA型で、成績は上位に位置する。教科では、化学が得意で国語が苦手。アップルパイとコーラを好んでいる。「愛と戦争ではすべてのことが正当化される(All is fair in love and war.)」を、座右の銘としている

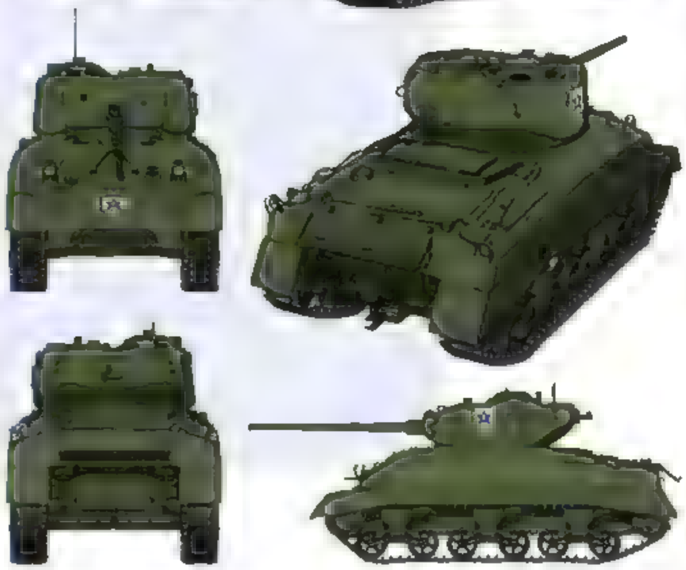
### ケイ
17歳で、長崎県佐世保市出身。血液型はO型。学校の女子寮に寄宿しており、成績は上位を占める。好きな教科は体育。ただし、家庭科を苦手としている。好きなお菓子と飲み物はアイスクリームとコーラ。座右の銘は「善は急げ(The sooner is the better.)」である

# 第63回戦車道全国高校生大会を盛り上げた

## サンダース大学付属高校の使用戦車







### M4A1シャーマン 76ミリ砲搭載型

ティーガーやパンターなど、強力なドイツ軍戦車に対抗すべく、M4シャーマンを改良した車輌。従来の溶接製車体を、防御力の優れた鋳造製に変更。主砲も、威力の高い76ミリ砲を搭載した。なおM4A1には75ミリ砲を備えたものや、誘爆防止のため弾薬庫の周囲を水槽で囲ったものなど、多くの派生型が存在する

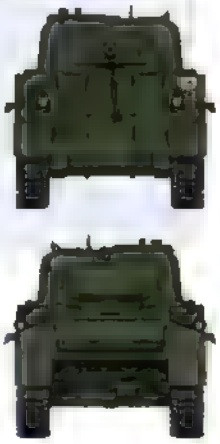




### M4シャーマン 75ミリ砲搭載型

シリーズ合計で約5万輌も生産された、アメリカの傑作戦車。シャーマンの名称は、南北戦争の名将、ウィリアム・シャーマンにちなんでイギリスがつけた。性能は平凡そのものだが、信頼性の高さと整備の容易さ、そして誰でも操作が短期間で習得できる点で高い評価を得ている。そのためノルマンディ上陸作戦以降は、連合軍の主力戦車として各戦場にて広く使用された





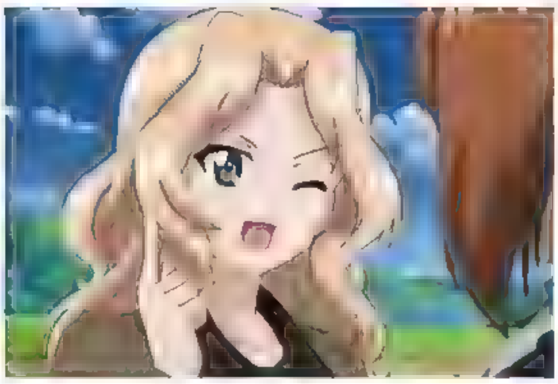
### シャーマン・ファイアフライ

イギリスが独自に改修し、自国製の17ポンド(76.2ミリ)砲を搭載したタイプ。当時イギリスでは、巨大な17ポンド砲を搭載できる自国戦車の開発が大幅に遅れていた。そこでM4シャーマンに、閉鎖器を90度横倒しにした17ポンド砲を搭載。完成したシャーマン・ファイアフライは、ドイツ軍にとって大きな脅威となった。ただし、サンダース高のファイアフライは保有する車体に17ポンド砲を搭載した独自改造タイプ



### M4A6シャーマン

生産数が75輌しかない、貴重なバリエーション。M4A4シャーマンをベースにした車体は、前部が鋳造、それ以外は溶接というハイブリッド構造。エンジンは30気筒ガソリンエンジンから、星型9気筒ディーゼルエンジンに換装された。ただし重点生産車種から外れたため、アメリカ本土での訓練用に使用された





親愛の情を込めた抱擁は、ケイにとっては当たり前の行動。だが、ハグに慣れていないみほは、びっくりした様子であった

食事はハンバーガー、ステーキ、バーベキューが三大名物。学食でもこれらの人気が圧倒的に高い。その人気ぶりは、朝からステーキを食べる生徒もいるほど。しかも肉類の量が多くとても安い。また肉は赤身が中心で、脂は意外と少ないためあっさりと食べられるらしい。

# ボンプル学園

Bonple Girls' High School

## ボンプル学園の使用戦車



7TP

シベリアから日本に渡ったポーランドの子供達が帰国後、当時知り合った日本人のために改めて提携校として作った学校。最初は神奈川県に医療系の学校として設立されたが、規模が大きくなったため福井県の敦賀港を母港とした。その際、かつて同じ県内にあった聖グロリアーナから、旧式になった学園艦を譲り受けた。このときから聖グロリアーナとの友好関係は続いており、交換留学を積極的に行っている。

独自の戦車を運用しており、豆戦車のTKS、軽戦車の7TP双砲塔型と単砲塔型、7TP改を保有。珍しいところでは、試作車しか存在しないと思われていた10TPを所有しているが、入手手段は不明である。ほかにはルノーR35を保有するが、レストアの最中で十分に使える状態にはない模様。そのため豆戦車と軽戦車中心で、機動力を活かした戦闘を行う。ただし、砲力と装甲の不足はいかんともしがたい。本来ボンプル学園の戦術は、ヤン・タルノフスキの伝統に従ったもの。支援用の横隊が前進しながら間断なく射撃を続け、同時に散開状態にあった高速部隊が敵陣に向けて突撃を敢行。徐々に速度を上げながら密集隊形を組み、最高速かつ最も密集した状態で敵陣に突入するというものである。そのため支援用の車輌と、機動力が高く快速で機銃を搭載した車輌を、大量に配備する必要があった。快速部隊は当初安価な豆戦車であったが、戦車の発達に伴い大型化し、軽戦車が中心となった。しかし、支援用車輌の機銃だけでは火力不足で、かといって大型砲を搭載する車輌の開発も遅れていた。そこでルノーR35を導入。これは以前使用していたルノーFT-17軽戦車と主砲が同じなので、備品や弾薬の共通化が可能であった。だが、この砲は対戦車戦闘を考慮しておらず、支援用としても能力不足だった。また、いくら軽快でも豆戦車や軽戦車での重戦車撃破は困難で、新しい戦車の早期導入が望まれている。そこで他校に打診をしたところ、サンダース大学付属からはM4A2シャーマン中戦車、聖グロリアーナからはクロムウェルMk.Ⅳ巡航戦車、黒森峰からは改造型ヘッツァー駆逐戦車、プラウダからはT-34/76中戦車の提供を検討するとの回答を得た。だがボンプル学園側は、一校でも回答があればと考えていたため、逆に多数の選択肢が得られたことで混乱。どこに正式な導入依頼を行うか、学内で派閥抗争に陥っている。主流派は親交の深い聖グロリアーナからの購入を主張しているが、卒業生を中心とした派閥はサンダース大学付属を強く推している。そのため、黒森峰とプラウダ高校を辞退したいが、下手に断わってこじれても困ると、回答を先延ばしにしている模様。結果的に、戦車や戦術の新規導入は遅れている。

このように、重要な決断を迫られる局面では優柔不断なところがあるが、生徒は真面目で勤勉。おとなしくて礼儀正しく、非常に勉強熱心である。成績も優秀で、一流大学への進学率も高い。そのためか、卒業後は意外にもサンダース大学へと進むことが多い。ただ、頑固で堅実路線を好むため、いざという時に勝負や変化を避ける癖がある。

食事はゆで卵の人気が高く、ソースかつ丼とゆで卵のセットが名物料理となっている。また、学校は戦車道よりも音楽の方が有名。馬術部も世界大会クラスである。

### 7TP

イギリス製ヴィッカース6トン戦車を参考に、ポーランドが独自の改修を加えた戦車。7.92ミリ機関砲を2門装備した双砲塔型と、37ミリ対戦車砲を備えた単砲塔型が存在する。最大の改修点は、日本の八九式中戦車などと並んで、いち早くディーゼルエンジンを採用した点にある。これにより、ヴィッカース6トン戦車の80馬力から110馬力へと、出力が強化された

写真提供：グランドパワー（ガリレオ出版）

# マジノ女学院

Lycée privé de Jeunes Filles Maginot

## マジノ女学院の使用戦車


ソミュアS35

山梨県にある学院。フランスでワイン醸造を学んだ学院の創立者が帰国した後、ワイン醸造のために作った農学校が元となっている。特に伝統的な製法である足踏みワインを行うために、わざわざ女子高として設立した。後に学園艦を建造するが、山梨県には港がないため静岡県の港を借りている。また、この学園艦は特殊で潜水艦型をしている。これは酒類を海中で貯蔵し、その熟成速度を向上させるために造られた施設を、学園艦に転用したためである。

保有車輌は提携先のフランスから導入しており、ルノーFT-17、ルノーR35などの軽戦車に、ソミュアS35騎兵戦車(中戦車)、ルノーB1重戦車と比較的バランスの取れた車輌を揃えている。ただし、開発当初は先進的であっても戦車道を行う上では旧式で、全体的に性能不足なのは否めない。そこで、新型車輌としてARL-44のレストアを試みているが、予算と人員不足の上、十分な戦力となるかが未知数で、作業は進んでいない模様。また、本来無線機を搭載していなかった車輌が多く、戦車道連盟から安全対策として無線機の搭載を指導された。そのため緊急無線機を搭載したが、そもそも無線手が乗っていない車輌もあり、通信による味方同士の意思疎通はそれほど向上していないようだ。

戦術としても、比較的優秀な性能のソミュアS35をまとめて部隊の中心に据えることなく、軽戦車と組み合わせ、小さな戦闘集団単位で行動させるのが基本になっている。これらの戦闘集団を要塞の代わりとなる重戦車の周囲に配置。重戦車に接近する敵戦車を迎撃する戦法が取られている。また、できるだけ戦車による横隊の戦線を維持し、そこを突破させないことにこだわるため、機動力の高い部隊に戦線を突破されるとただちに混乱するという欠点を持っている。なお、提携校ではこのような戦術から、ある程度砲力のある車輌を集中運用し、機動力を活かして敵陣へと浸透するという戦術への移行を試みている。だが練度が足りず、まだ効果的な運用ができていない。そのため、マジノ女学院でも新しい戦術への移行までは、かなり時間がかかりそうである。

校風としてだけでなく、戦車道においてもマナーを非常に重んじ、礼儀正しいことが尊重されている。そのため、勝つためには手段を選ばないような学校に対しては、非常に厳しく批判する。一方で他校からは、マジノ女学院こそ強引な手段を押し通す、などとも言われている。教育にも熱心だが、生徒の創造性はあまり求められていない。豊富な知識と見識を十分に披露するような会話が重視されているので、戦車道でも作戦の柔軟性に欠けている。また集団での規律を重視する割には、時間にルーズで個人主義に走りがちという、相反する性質を持っている。規律を守るのには長けているが、集団行動には向いていないという特性がある。

学校全体としては創造性を重視しない教育方針となっているが、例外的に芸術学科や映像学科、被服科の生徒には、徹底した創造性が要求される。これらの分野で、優れた才能を発揮する生徒も多い。それは料理でも同様で、調理科が作る食事の繊細さと独創性の高さは有名である。小麦やそば粉を使った調理に長けており、学食では素材の良さを生かしたジビエ(野生の鳥獣)や野菜類、豊富なキノコなどを使った料理も多い。食事を目当てに、この学校へとくる生徒もいるほどである。

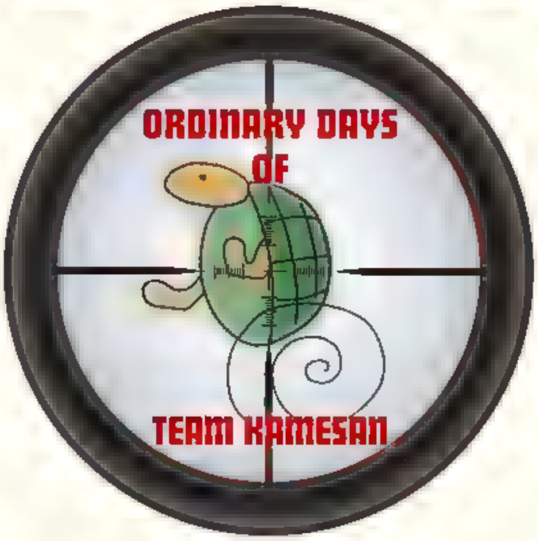
### ソミュアS35

1936年に制式採用された、フランスの戦車。車体や砲塔も含めてすべて鋳造製で、最大装甲厚は47ミリであった。これは当時主流だった、37ミリ対戦車砲にも耐えられるもので、スペック上ではII号戦車やIV号戦車にも対抗できた。だが無造作に設けた車体側面のハッチのため、防御力が低下。さらに、本車を分散配置したため、本来の性能を発揮できなかった

写真提供：グランドパワー（ガリレオ出版）



# 大洗女子チームの「日常」




## 第二話「お祭り好きです！」

大洗女子学園艦は、北緯三〇度付近の温暖な洋上をゆっくり北上していた。

「うーーん」

昼休みの生徒会室。食事もそこそこに済ませてデスクに向かい、書類仕事をしている副会長・小山柚子。その柚子がいったん手を止め、両手を組んでぐーんと胸を反らし、伸びをしている。

「少し根を詰めすぎなんじゃないか？ほら」

ねぎらいの言葉をかけながら、柚子の前にアイスコーヒーの入ったグラスを置いたのは、広報担当の河嶋桃。

「ありがとう桃ちゃん。でも次の試合までしばらく間が空くから、今のうちにね」

大洗女子に限らず、学園艦の生徒会には無数の書類仕事が回ってくる。生徒数は多いし、そのうえ学科が普通科、工学科、水産科、農業科、船舶科、情報科、被服科、栄養科と多岐にわたる。そこで起きるすべての手続に書類が発生する。もちろん各学科で取りまとめはなされているが、最後は必ず生徒会に上がってくる。

性格はおっとりしているが、柚子の事務処理能力は極めて高く、ていねいかつ迅速である。しかしその柚子をもってしても、戦車道の練習と試合をこなしながらの書類仕事は、楽ではない。

「やーやー小山、河嶋」

生徒会長・角谷杏は、いつものひょうひょうとした雰囲気で、いつもと同じく干し芋の袋を片手に現れた。

「あ、会長」

「お疲れ様です、会長」

「ところでさ、コタツとストーブっていつごろ準備する？」

「はっ。来週のうちにコタツ布団を干し、灯油を補充します」

居住まいを正し、桃が答える。

「今日は暑いですけど、二週間後には氷点下ですもんね」

困ったように笑いながら、柚子が言う。

ルーレットで決められた三回戦の試合会場はかなりの北方で、この季節でも雪が降る地域。杏の問いは、それを見越してのことだった。

「あのー、会長、この申請とこの申請なんですけど……」

柚子が2枚の書類を杏に示す。

「ん？　水産科が養殖水槽を増設したい……と、情報科からはサーバーPC買い換えたい、か」

「どうしましょう？」

杏は書類と柚子のPCに表示されている帳簿データを一瞥し、

「もぐもぐ……水槽は五個までなら増設オッケー、サーバーはもうちょい後でいいよ。もぐ」

袋から出した干し芋を食べながら、軽く即答。

「わかりました」

それを聞いて、テキパキと書類を仕上げる柚子。定型的な処理は柚子が片付けているのだが、肝心なところはこうして杏に確認を取っている。

そしてどう見ても適当に決めているとしか思えない杏なのだが、判断を誤って学園の運営予算に無用な損失を出したことは、不思議と一度も無い。

「ありがとうございます、会長」

そんな杏を柚子はずっと信頼していて、

「さすがです会長。見事な即断即決でした」

# 廃校の危機を乗り切るため戦車道を復活させて、大洗女子を全国大会優勝に導いた生徒会メンバーたち。でも普段は、学園生活をエンジョイするため、さまざまなイベントを考えていた……。



桃はひたすら尊敬していた。
「ふー、これでひととおり終わったわ」
すっきりした様子で、大きく息をつく柚子。さっき桃が持ってきてくれたアイスコーヒーをひと口、こくっと飲む。
「冷たくておいしい♪」
「おー、いいね。じゃあお茶菓子にこれ、あげるよ」
袋から干し芋を一枚出して、柚子に差し出す杏。
「ア、アイスコーヒーに干し芋ですか？」
困惑する柚子だが、杏は確信を持ってこう言った。
「もっちりした感じが、コーヒーの苦みとよく合うんだよ。河嶋ー」
「はい、ただいま」
アイスコーヒーをグラスに注ぐ桃。それを受け取った杏は、惜しげも無くひと息に飲み干す。
「ぷはー。ちょうどのど渇いてたんだ。しかし河嶋のアイスコーヒーはうまいね」
「ありがとうございます」
それは自費で買った良い豆をミルで挽き、時間をかけて水出ししたコーヒーだった。桃は私服やアクセサリー、そして嗜好品にはちょっとしたこだわりがあるらしい。
「さて、と……」
杏が、桃と柚子を同時に見ながらニッと笑う。こういう顔の時の杏はだいたい、なにかを企んでいる。桃も柚子も、そのことをよく知っていた。

「ここらで一発、お祭りやりたいよねー。なに祭りがいいかな？」
楽しげに言う杏。
「会長、そうおっしゃる予感はしていましたが、さすがに今年は……」
基本的には桃は、杏の発案にはあまり反対しない。しかし今回ばかりは、いつもとは違う。
「全国大会の真っ最中ですし、ちょっとイベントを準備する余裕はないかも……」
柚子も困惑気味だ。二人とも強く反対はしないものの、やはり今年は去年までとは状況が違う、と思っている。
「選手を集めての食事会程度ならまだなんとかなりますが、例年行っていたようなお祭りは難しいのではないかと……」
「でもさー、忙中閑ありって言うじゃん？ 次の試合までしばらく間空いてるし、学園艦が寒いとこに行く前にさ、パーッと準備して、何かやろうよー」
杏は既にやる気満々。しかし、
「そうですねぇ……」
眉を八の字にして、困っている柚子。できるものなら杏の希望通りイベントをやりたいという気持ちがあるからこそ、困っているのかも知れない。
「会長……お気持ちはわかりますが、次の相手は昨年の優勝校です。その強敵に、我々は勝たなければなりません……」



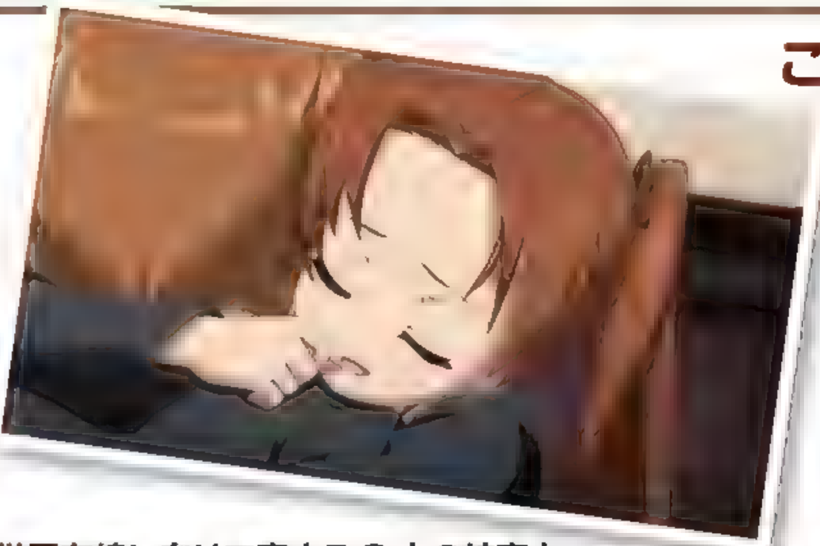
# 「ここらで一発、お祭りやりたいよねー。なに祭りがいいかな？」

言いづらそうに桃が言う。
「そうなんだけどね！」
ふと真顔になった杏だが、すぐまた明るい笑顔で続けた。
「だからこそお祭り、やっときたいんだよね。みんなと一緒に」
「会長……」
「戦車道もみんなには楽しくやって欲しいし、応援してくれてる生徒のみんなにも、今の学校をさ、楽しんで欲しいんだよ」
「……」
少しの沈黙の後、桃と柚子は二人同時に頬をゆるませた。
「わかりました」
「できる範囲で、何か……」
「よし、決まりー！ じゃあ今日の放課後、会議しようか」
かなりの無茶ぶりにも、最後はこうして同意し、ついてきてくれる柚子と桃。この二人が杏を慕っているのと同じで、杏にとっても二人は、かけがえのない存在なのだろう。大洗女子学園の生徒会執行部が、一年生のころからたった三人で回せているのは、この三人だからこそ——なのかも知れない。

× × ×

放課後。生徒会長の椅子に座る杏は目を輝かせ、少し前のめりの姿勢で切り出した。
「さてと。去年おとといは仮装大会、水かけ祭、ドロンコプロレス大会などなど、いろいろおもしろいのをやったけど……」
「水かけとドロンコの時は、大変な目に遭いましたよ……」
「桃ちゃん、会長の水大砲に吹っ飛ばされたり、フェイスロックを極められたりしてたよね」
「あははは！ そうだっけ？ でも、楽しかっただろ？」
「はい、楽しかったです」
話だけを聞くとさんざんな目に遭っている桃だが、「楽しかった」という返事に嘘はなかった。
「で、それを踏まえて……今回はなに祭がいいと思う？」
「はっ。休み時間に考えてみました」
「おー、どんなの？」
書類を挟んだバインダーを片手に、桃が読み上げる。
「題して『創作音頭祭り』！」
「桃ちゃん、何それ？」
「大洗名物『あんこう音頭』に続く、次世代の音頭を全校挙げて考案、披露するお祭りだ。三人から八人のチーム単位で参加者を募る。優秀作品は大洗町内会に提供し、公式採用を狙う」
「ふむ。例えばどんな音頭なんだ？」
「はい。まずは模範演技として我々で曲・歌詞・振り付けを突貫で作成し『釜揚げシラス音頭』『岩牡蠣音頭』『戻り鰹音頭』を実演し、校内放送で流します」
自信満々で言う桃。しかし柚子は微妙な顔で、
「確かに大洗の名産はあんこうだけじゃないから、そこは正しいと思うけど……あんこう音頭って、あの衣装であの振り付けしょ？ すごいインパクトだと思うのよ」
「あはは。あの時私らが踊ったやつも、動画撮られてネットにアップされたらしいしねー」
笑う杏。聖グロリアーナとの練習試合の後に、あんこうチームと生徒会で踊った時のことを思い出しているらしい。
「だからこそ！ 穏便な衣装と振り付けの新しい音頭を、我が校で創作すべきだろう！」
「でもね桃ちゃん、あれを越えるものを作らないと、正式採用されないと思うよ？」
あんこう音頭を越えるものを目指すとなると、より衝撃的な衣装と振り付けを追求しなければならない。
「そうか……正式採用にはさらなるインパクトが必要……本末転倒ではないか。今でさえアレなのに……」
桃も、企画に問題があったことに気づいたようだ。
「そうそう。きっとみんな、参加をためらうと思うの。あんこう音頭の衣装ですでに恥ずかしいのに、あれ以上となると……」
「ふむ、厳しいか」
「私はおもしろいと思うけどなー！」
干し芋をほおばりながら、杏はうんうんと頷いている。
「すみません会長、この案は撤回します」
深々と頭を下げる桃。
「んー、発案者がそう言うんじゃ、しょうがないなー。じゃあ小山、何かある？」
柚子はいつものおっとりした調子で、こう言った。
「私は『凧揚げ大会』がいいかな、って思ったんですけど」
「はははっ。のどかだなー、小山の案は」
「手軽にできるのはいいが、さすがに地味すぎるな……」
「そう言われるとそうね……」
「よし、凧揚げ大会はお正月にでものーんびりやろう。その時までキープね」
「はい、わかりました」
凧揚げは新春イベントに回された。
となると残るは——

## こんなこともありました【生活編】





### 感謝を込めた会長の熱い抱擁

廃校回避のため、最初は生徒会長として冷徹な態度で、みほに戦車道履修を迫った杏。だが本当は優しい心の持ち主で、学園を救ったみほに飛びついて、ありったけの感謝を述べていた







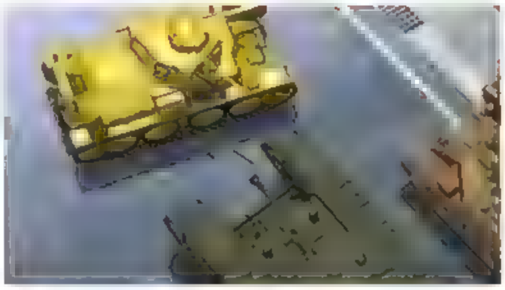
### 学園存続に向けて高まる３人の結束力

もともと仲のいい生徒会メンバーだが、大切な思い出のある学園を守るために一致団結。慣れない戦車道も３人で知恵と勇気を振り絞り、全国大会優勝という最高の結果を残した

## あんなこともありました【試合編】



### 至近距離の砲撃で痛恨のミス



聖グロリアーナとの親善試合では、ピンチを迎えたみほたちの前に、カメさんチームが颯爽と登場。ところが砲手の桃は、ゼロ距離射撃にも関わらず相手の撃破に失敗。絶好のチャンスを潰してしまい、柚子に「ここで外すぅ?」と言われてしまった







### 会長が見せた意外な才能



普段は桃と柚子に任せっきりで、何もしない杏だが、実は砲手として優れた腕前を持つ。プラウダ戦や黒森峰戦では、隠れた才能を発揮して相手戦車を撃破。大洗女子の勝利に貢献した



### 全国大会に賭けた桃ちゃんの学園愛

準決勝でプラウダ高校の待ち伏せ作戦に引っかかり、包囲された大洗女子。だが桃は、プラウダ高校の降伏勧告を、決して受けようとしなかった。なぜなら桃にとって学園は、杏や柚子と暖かい友情を育んだ場所。だからこそ、絶対に負けられなかったのである

「会長の案をお聞かせください」

かしこまって問いかける桃。杏はニコニコ笑いながら、自分のアイデアを話し始める。

「そうだなぁー、まずやってみたいのは『学園艦鉄人レース大会』かな？」

「鉄人レースって……」

「トライアスロンですか？」

目を丸くしている柚子と桃。しかし杏は上機嫌で続ける。

「うん。まず学園艦の船尾から船首までマラソンね。で、そっから海に飛び込んで……」

「ちょっと待ってください会長！ さすがにこの高さから飛び込んだら、命がありませんよ！」

「プ、プールにしましょう！」

「それだとつまんないよー。やっぱり海泳がないと。そうだ、船首から八シゴで降りることにしよう。で、船尾まで泳いで、また甲板に上がって、最後に自転車で学園艦一周だよ」

トライアスロンの正しい順番は水泳・自転車・マラソンなのだが、桃と柚子にしてみれば、そんな些細なことにツッコミを入れている場合ではない。

「あの……不可能では無いと思いますが、ハシゴは危険ですから命綱の装着は必須です。水泳についても救護ボートを複数伴走させ、安全には万全の配慮をすべきかと……」

「かなり大がかりになっちゃいますね……」

「んー、ちょっと難しいか」

残念そうに言う杏。

「ほかに何かありませんか？」

やや恐縮しつつ問いかける桃。に、気を取り直した杏が言う。

「やっぱり、戦車にちなんだお祭りにしようか。今、戦車道の大会やってる最中だしね」

「名案ですね！」

「それがいいと思います」

桃と柚子の表情に安堵が浮かんだ。やはり戦車に絡めたイベントがいい。生徒たちも、より戦車道を身近に感じ応援してくれるかも知れない。

「で、具体的には何を？」

「『戦車運動会』をやろう！」

ビシッと言い切る杏。

「戦車……」

「……運動会？」

柚子と桃は、さっきのトライアスロン案を聞いた時よりもあっけにとられている。

「あの一、それはどういう……」

杏は意気揚々と答える。

「戦車で運動会するんだよ。まずは戦車大玉転がしね。おっきい玉を作って、戦車で転がしながら競走するんだ。砲塔の回し方がポイントになるね、たぶん」

「は、はあ……」

柚子はますますあっけにとられていた。しかし杏は続ける。

「次は戦車綱引き。これは、重さと馬力がなるべく互角になるように、うまくチーム分けしないとね」

「なるほど……」

桃は神妙に聞いている。

「最後は運動会の華！ 戦車騎馬戦！ これはね、代表の選手がハチマキして戦車の上に乗って、敵の背後とか側面を突いて飛び移る。で、相手の代表のハチマキを奪って、また自分の戦車に飛び移るんだよ。騎馬戦だから地面に落ちたら失格ね。一番盛り上がるよーこれは！」

杏の視線は宙を見ていて、今まさに戦車で行う大玉転がしや騎馬戦の光景を思い描いているようだった。

「どう？ これを全校生徒の前でやるんだよ。みんな戦車道の試合の応援だと、真剣になっちゃうじゃん？ でも運動会だと気楽に応援できて、戦車が身近になると思うんだよね」

我が意を得たり、という風に言い切る杏である。

「でも、さすがにそれは……」

柚子が言いかけたが、

「名案です会長！ それで行きましょう！」

「えええ!? 桃ちゃん？」

こうして、生徒会による次回お祭り会議は決着した。

× × ×

その翌日。

西住みほと自動車部ナカジマが生徒会室に呼ばれ、戦車運動会に向けた実務的会議が行われたのだが、西住・ナカジマ両名から「戦車が損耗する可能性大」との指摘を受け、このお祭りは「一時棚上げ」とされた。

しかし、大会終了後であれば多少戦車が傷んでも大きな問題にはならない――

「最後まで勝ち抜けたら、運動会やろうよ。戦車でね！」

# ガルパントピックス

GIRLS UND PANZER★TOPICS

7月5日から全国14劇場で先行公開される新作OVAを中心に、ゲームや注目のアイテムなど見逃せない情報をお知らせいたします。

## アンツィオ高校キャストより コメント到着!

### 近藤妙子&アンチョビ役 吉岡麻耶

OVAの制作は、ガルパンファンとしてもうれしいの一言。演じている妙子の魅力は、見返り姿が多いのでおしりですね。アンチョビは、あの不敵な笑みとツインテールがかわいいです! 恒例のお風呂シーンも見たいですが、秘密兵器・P40の威力も気になります。アフレコも、大好きなガルパンチームでできると思うと楽しみですし、誠心誠意努めて参ります!



## 個性的な戦いぶりがアンツィオ高校の強み

「調子づかせると手強い」と言われるアンツィオ高校。実際に守りの硬いマジノ女学院を撃破したアンツィオ高校は、少ない予算をやりくりしてイタリアの重戦車、P40を購入。勝敗を握る切り札を手に入れたことで、勢いづいていた。

そんな二回戦が描かれるOVAでキーパーソンとなるのが、アンチョビら3人。彼女たちが必勝を期して考え抜いた戦術に、目を奪われること間違いない。さらに、彼女たちの個性的な性格も見どころの一つ。キュートでありながらも、意外な言動とのギャップが、物語に花を添えるであろう。

## 漫画版「ガールズ&パンツァー」著者 才谷屋龍一先生のコメント



## アンツィオ高校側 戦車の内部設定公開

ほとんど資料のなかったP40の内部を始め、スタッフの努力により、緻密に再現された各戦車の内部設定。この車内で、アンチョビたちがどんな活躍を見せるのか、楽しみである



P40 砲塔内部②







カルロ・ヴェローチェ(CV33)内部1



カルロ・ヴェローチェ(CV33)内部2

## 劇場限定版Blu-rayが全14劇場にて7月5日より発売



### 特典は「ドゥーチェの胸像」

(アンチョビの胸像フィギュア)

**【Blu-ray特典】**

●映像特典 PV・CM集、ノンクレジットED、「不肖・秋山優花里の戦車講座〜イタリア戦車編〜」(仮)、2014年 大洗海楽フェスタ イベント映像(仮)

●封入特典 特製ブックレット(フルカラー/24P予定)

●音声特典:キャストコメンタリー(出演 渕上舞(西住みほ役)、吉岡麻耶(アンチョビ役)、他/予定)、スタッフコメンタリー(鈴木貴昭(脚本・考証・スーパーバイザー)、岡部いさく(軍事評論家)、吉川和篤(考証・スーパーバイザー)、杉山潔(プロデューサー)/予定)

※画像は製作中のものです※フィギュア以外の特典は、一般発売Blu-rayと同様です。ただし、一般発売に「ドゥーチェの胸像」(アンチョビの胸像フィギュア)は付属いたしません

## イベント上映で声優陣の舞台挨拶が開催決定!

大洗女子VSアンツィオ戦とともに、キャスト陣によるナマの声が堪能できる絶好のチャンスが到来! 高品質の音響と大スクリーンでお届けするイベント上映にて、なんとキャスト陣による舞台挨拶の開催が決定した。7月5日の東京を皮切りに、7月6日にて大阪と名古屋、7月19日には埼玉と水戸で行われる。さらに上映館も、TOHOシネマズ浜松(静岡)とOSシネマズ ミント神戸(兵庫)の2館の追加が決定。そのほかのくわしい情報は決まり次第、公式HPにてお知らせするので、欠かさずチェックをして欲しい。

## OVA ガールズ&パンツァー これが本当のアンツィオ戦です!

2014年7月25日発売予定　公式HP http://girls-und-panzer.jp/

# 限定版を彩る二つのビジュアル





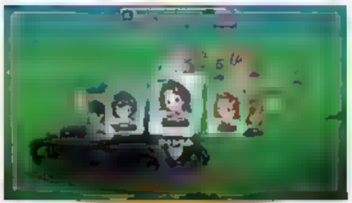
## 戦車を切り替える新システムとは!?

アニメでの名シーンや、好きな戦車同士で戦うオリジナルバトルが楽しめる本ゲームでは、多数の戦車を操るためのシステムが存在する。その名も「リアルタイムザッピングシステム」。これは操作する戦車を、簡単な操作で変更するシステムで、戦況に応じて視点も切り替えられるのだ。

さらに戦車を変更すると、アニメでは聞けなかった各キャラクターたちの会話が聞けることも。原作を知っている、ファンの心もくすぐるシステムと言えるだろう。

ピンチに陥った各キャラクターを救うのは、プレイヤーの腕次第。アニメ同様、逆境を覆して欲しい。







ザッピングによる連携プレイで、仲間たちを救出。これが、本ゲームの醍醐味である

### ゲーム進行のカギを握る
## リアルタイムザッピングシステム

複数の戦車をうまく操るには、まずマップで状況を確認。慌てずに操作する戦車を切り替えることが、勝利のポイントとなる。また切り替えのコンビネーションによっては、アニメとは違う戦術も試せるようだ。

## ライバルも続々登場!








M4シャーマン
75ミリ砲
搭載型



M4A1シャーマン
76ミリ砲
搭載型



シャーマン・
ファイアフライ

PS Vita

## アイテム情報

### ガールズ&パンツァー 設定資料集(仮)

2014年7月7日発売予定(ご予約締め切り日:5月8日)
定価:7,000円(税抜)　発行:バンダイビジュアル

TVシリーズはもちろんのこと、新作OVAのキャラクターやメカニックの設定資料を、B4サイズで網羅。特典として渕上舞さん(西住みほ役)の、手書き修正台本(複製)がついた計4分冊






### ガールズ&パンツァー アニメ版権イラスト集
### 戦車道少女寫眞集　壱

2014年5月29日発売予定
定価:3,000円(税抜)　発行:アクタス

2012年5月からの版権イラストを、時系列順にまとめたフルカラー版。現在では閲覧が困難なイラストも収録



上記書籍のご注文は、BANDAI VISUAL CLUB
https://bvc.bandaivisual.co.jp/feature/119/まで

GOODS

### 水戸ホーリーホック×ガールズ&パンツァー コラボレプリカユニフォーム 2014





背中に、大きくあんこうマークをあしらったコラボ商品第一弾。左袖にはガルパンのロゴ、胸のナンバーは、サポーターを意味する12番がプリントされています

●レプリカユニフォーム　●17,143円(税抜)　●好評発売中　●販売元:水戸ホーリーホック



### ロゴTシャツ

背中にワンポイントでプリントされた、あんこうチームがアクセントとなっています

●Tシャツ　●価格未定
●2014年春予定　●販売元:水戸ホーリーホック



### イラストTシャツ

正面に描かれたホーリー君は、ガルパン全般を担当するデザイナーの手によるもの

●Tシャツ　●価格未定
●2014年春予定　●販売元:水戸ホーリーホック



### メッセージTシャツ

「ともに闘おう!」という英文メッセージのなかに、あんこうマークが入っています

●Tシャツ　●価格未定
●2014年春予定　●販売元:水戸ホーリーホック




### タオルマフラー(2種)

●タオル　●定価:1,852円(税抜)
●2014年4月29日発売予定　●販売元:水戸ホーリーホック

コラボグッズのご注文は、水戸ホーリーホック公式サイト http://www.mito-hollyhock.net/ まで

## 夏は今年も大洗町でガルパン三昧!



※画像は去年の模様です

10式戦車や訓練支援艦「てんりゅう」の登場で、昨年は全国ニュースとなった「大洗　海開きカーニバル」。今年もガルパンを迎えて、夏に開催される模様だ。今回は、どんな趣向を凝らしているのか、今から楽しみである。

# ガルパン メイキングログ【 】









屋外には74式戦車を始め、自衛隊が使用した歴代車輌を展示。第10話で三式中戦車を発見した場面は、火器類を集めた火砲館殿にある展示スペースがモデルになっている



## 2011年5月26日

全体ロケハンに先立って行われた、杉山Pによる事前調整。普段、見学できない戦車内部の取材には、きめ細かい交渉が必要となる。またロケハンをスムーズに行うため、武器学校内もリサーチされた。

## 2011年6月21日

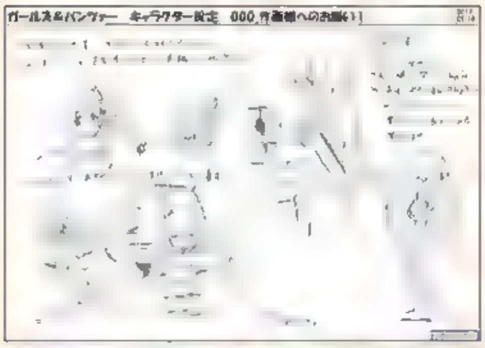
武器学校の全体ロケハンは戦車のCGモデリングを先行するため、大洗町のロケハンより約半年早く実施。この時点で登場する戦車は未決定だったが、印象に残った、八九式中戦車や三式中戦車の採用が後に決まった。

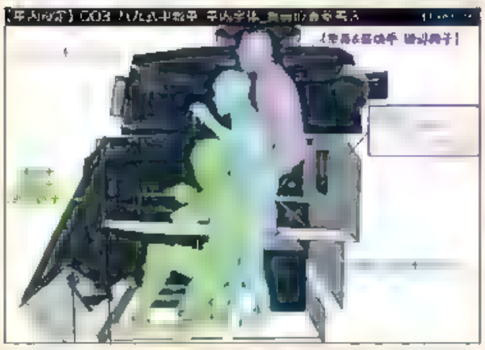
ロケハンに先立ち、武器学校内の展示館を見学。広報担当官から、施設の説明を受けた



## 触れた体験をフィードバック







ただ観察するだけでなく、内部に入ったりハッチを開閉したりすることで、搭乗員の配置や鉄の重さを実感。これらの体験は、設定資料や各スタッフへの作画注意に反映された



## 本物の八九式中戦車に興味津々

ロケハンとはいえ、好奇心旺盛な各スタッフは少し興奮気味。笑顔をのぞかせながら、八九式中戦車に触れていた







水島監督は、精力的に八九式中戦車を取材。車体の下に潜り込んで、足回りの構造や底の様子を確かめた

## 実車の体験が物語に反映されたロケハン

戦車に関するロケハンは、土浦駐屯地内の土浦武器学校で行われた。ロケハンには水島努監督のほか、おもなスタッフや脚本を担当した吉田玲子さんも参加。ロケハンでの体験は、ストーリー作りにも影響を与えた。同行した杉山潔プロデューサー（杉山P）は、その成果をこう語る。

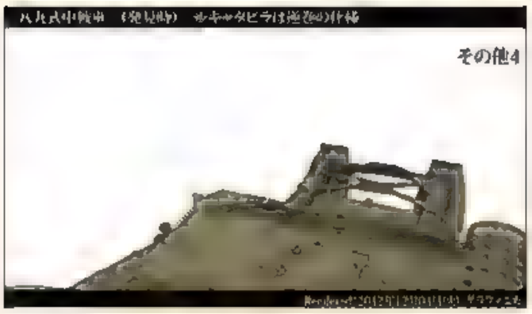
「第3話のお風呂シーンはこちらからお願いしたものでなく、吉田さんの実体験がもとになっています。吉田さんが八九式中戦車の内部で感じた、熱さやほこりっぽさが脚本に生かされていますね」

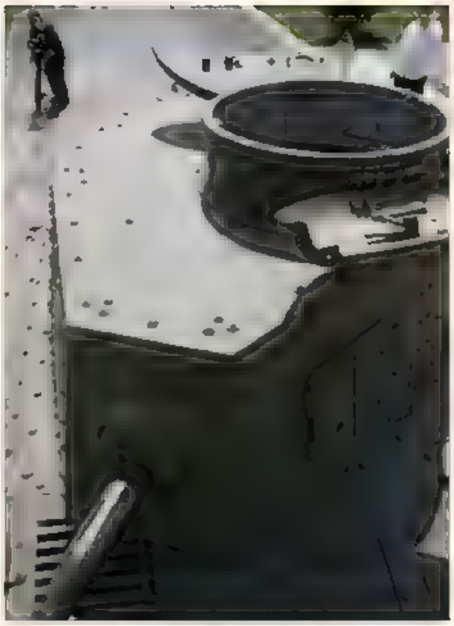
またロケハンには、単に作品のクオリティーを上げるだけでなく、別の効果もあったようだ。

「取材も大切ですが、スタッフのテンションを上げることも重要。各人の結束も固まりますし、何より前向きになれますね」（杉山P）

ロケハンで大きな収穫を得た各スタッフは、戦車を動かすという難しい作業に挑んでいくのであった。

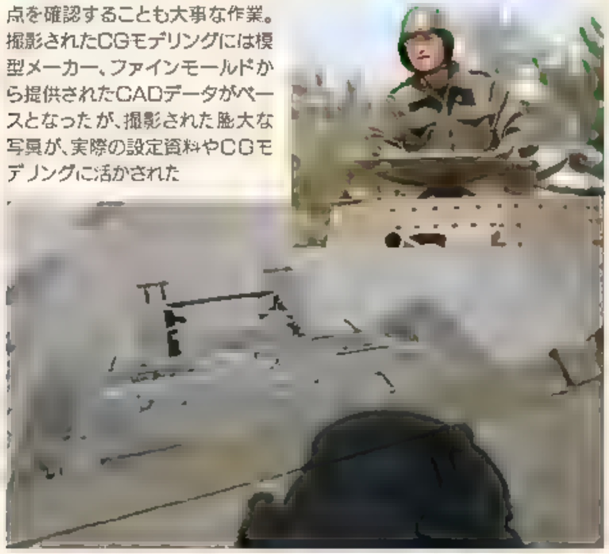


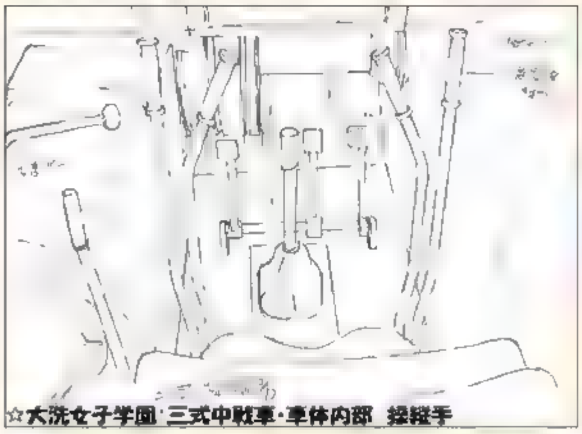



## 後方のディテールは上から確認

車長の立場になって、上からの視点を確認することも大事な作業。撮影されたCGモデリングには模型メーカー、ファインモールドから提供されたCADデータがベースとなったが、撮影された膨大な写真が、実際の設定資料やCGモデリングに活かされた

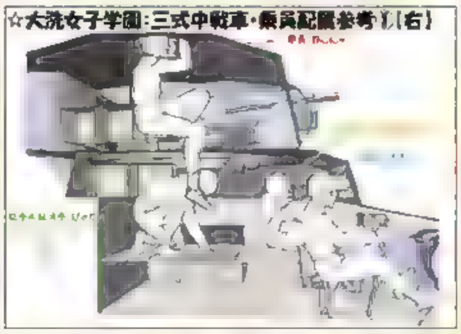







## 細部まで徹底して取材






取材をもとに制作された内部構造図は、三式中戦車の資料としては一級品。これを見て、驚いた専門家も多かった

## 2012年1月27日

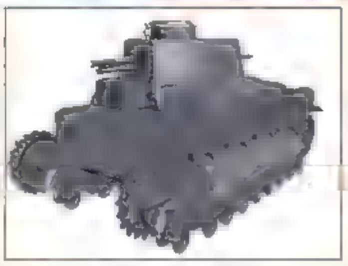
三式中戦車や八九式中戦車の登場が、ほぼ決定した後に行われた、CGチームによる追加ロケハン。CGモデリングや実際の作画に必要な部分が撮影され、リアリティーのある戦車シーンへと結びついた。



## 忠実に再現された三式中戦車の足回りや砲塔部分

## 取材の成果を活かして3DCGを制作





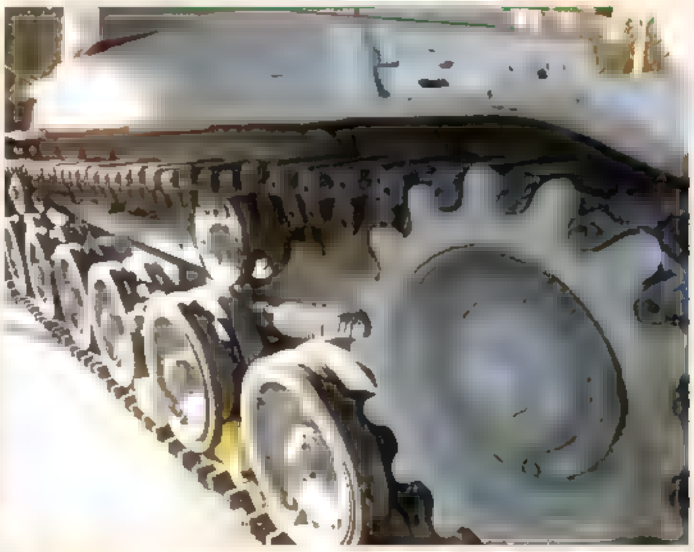


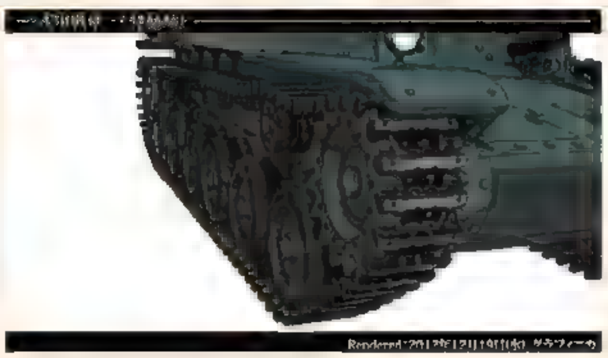
CGチームは、ただ撮影したものをトレースするだけでなく、各部品の役割を理解することで戦車のCGを完成させた



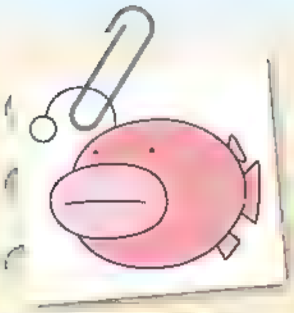


直線的な砲塔部のディテールを細かく見ると、リベットの位置や大きさが、実物同様に描かれていることがわかる





日本戦車に多用されたつる巻式バネ方式の足回りも、このロケハンによりひと目で分かりやすく再現された



# Girls und Panzer Event Report
# ガルパン・イベントレポート

**海外で初めてのイベントとなった台北ゲームショウや、新宿アルタスタジオで行われたトークライブなどの模様をピックアップ。大勢のファンでいっぱいとなった、各イベントの盛況ぶりをお伝えしちゃいます！**

## 台北国際ゲームショウ2014

### 世界へと大きな広がりを見せるガルパン人気！

**海外初進出!!**

2014年1月23日～27日、台湾で開催された「台北国際ゲームショウ2014」のWargaming.netブースで25日、渕上舞さんと中上育実さんのトークイベントが行われた。初めて台湾を訪れた2人は、日本語で「西住殿～」「秋山殿～」と連呼する地元ファンに鷲いた様子。続く「World of Tanks」の実演コーナーでは、ジャンケンで選抜された観客とチームを組んで2人が対戦し、中上チームが勝利を収めた。そして最後は、日本でもおなじみの「パンツァーフォー」でイベントは終了。台湾でも、ガルパン人気の高さを見せた。







台湾ファンによる熱烈な歓迎に、笑顔が絶えない2人。観客も、海外だとはまるで思えない盛り上がりぶりを見せていた

## いばらきイメージアップ大賞表彰式

大洗町がガルパンとともに取り組んできた、大洗「ガルパン」プロジェクトが、今回で8回目となる「いばらきイメージアップ大賞」の大賞を受賞。受賞式が2014年2月5日、東京・都道府県会館にて行われた。式では、大洗商工会の坂本博事務局長が代表として表彰を受け、壇上で「イメージアップのために頑張ろう、パンツァーフォー！」と拳を上げた。また会場には、サプライズゲストとして渕上舞さんも登場。抽選により招待された約50人のファンとともに、大賞受賞の喜びを分かち合っていた。







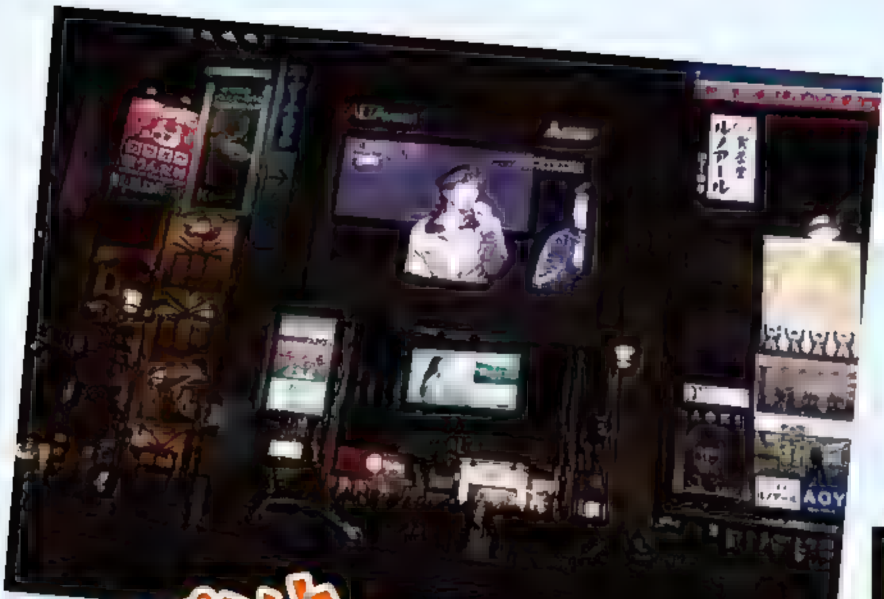
昨年の、観光庁主催「今しかできない旅がある」奨励賞に続き2回目の快挙。大洗町とガルパンの関係の良好さが、認められた結果である

## ワンダーフェスティバル2014【冬】

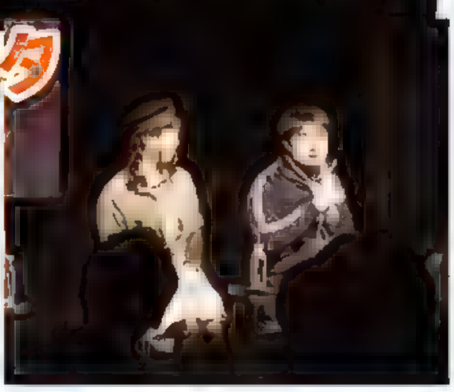
2014年2月9日、千葉・幕張メッセのワンダーフェスティバルのプラッツブースにて、岡部いさくさん（軍事評論家）、吉川和篤さん（監修）、一、神泰徳さん（プラッツ）、杉 JPによるトークショウが開催。マニアックな話題に、集まった観客は興味深そうに聞き入っていた。また各関連ブースには、戦車の模型やフィギュアも展示され大盛況な一日であった。



トークでは、吉川さんがイタリア戦車の良さを、イタリアの地域性や文化も含めて熱く語った



# ガルパンとWoTがアルタスタジオをジャック!



イタリア戦車の話題で盛り上がった本イベントでは、宮永氏にイタリア戦車実装への希望と期待が、ほかの出演者からかけられた

## World of Tanks 戦車トークライブ「語っていいとも!」

2014年2月21日、ウォーゲーミングジャパンは東京・新宿で「World of Tanks」のオフラインイベントを開催。アルタスタジオでは、中村桜さんや吉川和篤さん、ウォーゲーミングジャパン ミリタリーアドバイザーの宮永忠将さん、杉山Pが濃厚なトークを披露した。そのなかでも、とくに熱かったのが八九式中戦車とイタリア戦車の話題。もともと、軽戦車だった八九式が中戦車に分類された経緯や、OVAで登場するイタリア戦車を専門家である吉川さんが解説。戦車が大好きな中村さんも、観客とともに興味深い表情を浮かべていた。



## 第八回声優アワード授賞式

優秀な声優や、印象深い作品を顕彰する「声優アワード」で、ガルパンがシナジー賞を受賞。2014年3月1日の受賞式では、代表として渕上舞さんがトロフィーを受け取った。緊張ぎみの渕上さんは「大洗町の皆さまと盛り上げた作品が受賞して、とてもうれしく誇りに思います」とコメント。会場からの暖かい拍手に包まれた。



シナジー賞は、声優の魅力を最大限に発揮した作品に贈られるもの。ガルパンは大洗町の活性化に、大きく貢献したことが評価された

## レプリカユニフォームお渡し会



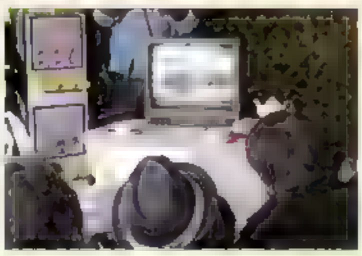
気さくに声をかけながら、ユニフォームを渡す尾崎さん。このあと試合も観戦し、勝利を飾った水戸ホーリーホックに興奮していた

2014年3月2日、茨城県・ケーズデンキスタジアム水戸では、尾崎真実さんによるレプリカユニフォームお渡し会が実施された。雨天にも関わらず、スタジアムには大勢のファンが集結。満面の笑顔を浮かべながら、尾崎さんからユニフォームを受け取っていた。

## 速報!! 大洗春祭り 海楽フェスタ2014



2014年3月29日～30日、大洗町で開催された海楽フェスタは、前夜祭の29日は晴天に恵まれたものの、30日は土砂降りの雨。ところが渕上舞さん、尾崎真実さん、吉岡麻耶さんが登壇したステージイベントでは奇跡的に雨が止み、ファンと楽しいひと時を過ごした。なお海楽フェスタの模様は、次号にて特集します。



大洗町商店街各所では、29日にOVAのPVを、どこよりも早く公開した

## AnimeJapan 2014





ショウゲートのブースでは、パンツァージャケットを来た、コンパニオンさんがお出迎え。記念撮影にも気さくに応じていた



AnimeJapan 2014の初日となった3月22日、バンダイナムコグループのブースにて廣岡祐次宣伝プロデューサー(廣岡P)と杉山Pのトークイベントが行われた。ここでは海楽フェスタの情報と、OVAの新規カット5点が先行公開され、訪れたファンを喜ばせた。

過去に行われた、ガルパン関連イベントを振り返る本コーナー。今回は昨年の海楽フェスタを中心に、大勢のファンと一緒になって盛り上がった、思い出深いイベントの模様を紹介いたします。

# バックトゥザカーニバル
## BACK TO THE CARNIVAL




### 一挙上映イベント ～皆でパンツァー・フォー！～

**2013年1月27日　東京・一ツ橋ホール**

あんこうチームの5人が出演するはずだったこの日は、井口裕香さんがインフルエンザのため欠席。それでも観客は、4人のトークやミニゲームを大いに満喫した。そして最後は、茅野さんの発案で観客とともに「早く元気になってね」と井口さんにエールを送り、楽しいイベントは締めくくられた。



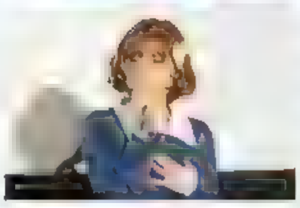



登場したヒロインの印象を一言で表し、全員一致したら干し芋3日分が貰えるミニゲームでは、尾崎さんのユニークな回答もあり4人とも苦戦していた

### ～海楽フェスタ前夜祭～オールナイト上映カーニバル

**2013年3月22日　茨城・水戸**

放映が約3ヶ月延期された第11～12話が、最速で公開されるとあって観覧希望が殺到。2スクリーンでの公開予定が、全館使用へと変更され、1500人もの観客で溢れかえった。上映終了後はスタンディングオーベーションが巻き起り、売店では真っ先にポルシェティーガーの模型が売り切れる現象も見られた。



深夜にも関わらず舞台挨拶に立った渕上舞さん、中上育実さん、中村桜さんは、感慨深げに最終回に向けての思いと見どころを語った

### ガルパン流 ワンフェス模型カーニバル

**2013年2月10日　千葉・幕張メッセ**

このイベントでは、アーマーモデリングブースとプラッツブースでトークを展開。アーマーモデリングブースでは、三式中戦車を観客の前で塗装する中村桜さんを始め、渕上舞さんやプロモデラーのPOOH熊谷さん、月刊モデルグラフィック副編集長の高久裕輝さん、杉山Pが集まり模型談義に花を咲かせた。




### ガールズ&パンツァー 大洗女子スタンプラリー道

**2013年1月18日～6月17日　茨城・大洗町**





景品では、ご当地プロレスラー・オーアライダーとみほがコラボ

今や大洗町では恒例となった、スタンプラリーの第1弾。当時は、8つあるスタンプのうち6つを集めると、特製ステッカーが貰えた。また大好評だったため、5月6日の終了予定が6月17日まで延長された。

## 大洗春祭り 海楽フェスタ2013

### 2013年3月23日　茨城・大洗町

オープニングで渕上舞さんが開会を宣言した海楽フェスタでは、13時からステージイベントがスタート。渕上さんのほか、中上育実さんや中村桜さん、佐咲紗花さんが登壇した。トークでは、渕上さんが「また大洗町にこられてうれしい」とコメント。中上さんにはサプライズとして、第5話で優花里が着たサークルKサンクスの制服が手渡された。そして最後に、佐咲さんが挿入歌のあんこう音頭を披露。観客全員での合いの手が、大洗の町に響き渡った。



## 約5万人もの観客が大洗町に集結！









プライベートでも大洗町を訪れていた中村さん(上)は、「スタンプラリーをコンプリートしました」と報告。展示された74式戦車に対して「かっこいいですよね」とコメントした

## 「MG的模型戦車道選手権シンポジウム」も開催

大洗文化センターにて15時から開催されたシンポジウムには、ステージイベントに登場した4人のほか、模型や戦車に精通した5人のゲストが参加。戦車模型が持つ魅力と、制作する楽しさが語り尽くされた













## 公式痛車と74式戦車が異色の共演！

自衛隊の協力で、本物の74式戦車が展示されたほか、当時としては初めてとなる公式痛車が公開。記念写真を撮ろうとガルパンファンだけでなく、一般のお客さんも74式戦車や痛車の周りを取り囲んだ





### ヒロインの立て看板がファンをお出迎え
## ガルパン街なかかくれんぼ

この日から大洗町の商店街では「ガルパン街なかかくれんぼ」と題して、作中に登場する54体のキャラクターパネルを各店舗にて展示。ファンを喜ばせる企画として、現在も継続中である。

PROJECT G
Supporters of Girls und Panzer

**ガルパンと水戸ホーリーホックのコラボが、いかにして生まれたのかを代表の沼田邦郎氏に。OVA監修の様子を、考証・スーパーバイザーの吉川和篤氏に伺いました。**




# 沼田邦郎

**ぬまたくにお ● 株式会社フットボールクラブ水戸ホーリーホック代表取締役社長**

1964年11月5日生まれ、茨城県水戸市出身。1985年株式会社ヌマタ商事入社。1988年水戸市サッカー協会理事となり2005年からは同協会の理事長を務める。2008年から株式会社フットボールクラブ水戸ホーリーホック代表取締役社長　FC水戸ホーリーホック公式サイト● http://www.mito-hollyhock.net/

## ガルパンとサッカーの共通点に気づくまで

**——水戸ホーリーホックは、どういうチームでしょうか？**

今年で20周年を迎える、由緒あるチームです。水戸にあるクラブが土浦のプリマハムFCと合併した1997年に今の形になりました。私は2008年から代表を務めていますが、ようやく強いチーム作りができてきた、というところです。クラブチームは資金力で戦力が左右されてしまいます。水戸ホーリーホックは、J1・J2のなかで最下位の40番目の予算で戦っているチームなんです。そんな状況のなか、いかにしてチームを強くしていくか、試行錯誤しながらやってきました。

選手は一生懸命、水戸のために戦ってくれる者ばかりです。2002年ワールドカップ本選のベルギー戦で、日本代表の初得点を挙げた鈴木隆行選手のように、お金だけではなく水戸ホーリーホックに来てくれる選手もいます。2011年から柱谷哲二監督になったので、彼のもとで試合をしたい、成長したいという選手も多います。柱谷監督は元日本代表選手で、かつてドーハの悲劇を体験している方です。監督から選手へ「お前達は水戸のために戦うんだ」と、しっかり話していただいているので、信念を持っている選手が集まっているクラブですね。

ライセンスの問題で、2016年度まで我々はJ1へ昇格する資格がないんです。規定でスタジアムに1万5千人の入場可能数がないといけないので。けれど、今はライセンスがなくても、水戸ホーリーホックを全国に発信するために、強いチームを作って戦っていく。そういう決意でチーム作りをしています。

**——ガルパンとのコラボする、きっかけを教えてください。**

大洗町でガルパン関連のお手伝いをされている常盤さんとの交流のなかで紹介されたのが、ガルパンを最初に知るきっかけとなりました。大きな契機となったのは、ファンの方から常盤さんのところへ、尾本敬選手へとフィギュアが贈られてきたことですね。それがチームのユニフォームを着た西住みほのフィギュアだったんです。常盤さんから見せられた時、何かできないかなと考えて、そこから始まりました。



フィギュアを見たときには、その出来映えに驚きましたね。「ここまでキレイにできるんだ」と。そこで、DVDを全巻買って観たのですが、その時に気づきました。大洗女子学園と水戸ホーリーホックは似ているって。予算も少なくて弱小と言われるチームが、知恵と勇気で戦って全国大会の決勝戦まで駆けのぼっていく。そのストーリーとヒロインたちの立場は、我々が置かれた状況と共通しているところがあります。そこで本格的にコラボレーション企画ができないか、と考えたんです。





# プロジェクト

## 〜ガルパンを支えた人びと〜

## サッカーも戦車道もチームワークが大切です。ガルパンとは精神的に通じる点がありますね







### ひょっとしたらコレは教育番組なのでは？

——DVDを見たときの印象は、いかがでしたか？

私はアニメに馴染みがなかったので、最初は一歩引いた感じで観ていました。第1話の冒頭で隊列を組んで戦車が登場したとき、最初は何をしているかわからなかったんです。でもそれが回想の一種で、主人公達の状況が分かると、ガルパンの物語にどんどん惹きこまれていきました。作り方がうまいですよね。そして第4話の舞台が大洗町だったことで、より親近感が増しました。だからガルパンという作品は、自然に入っていけました。

——ガルパンの、どういうところに魅力を感じましたか？

チームワークの重要性をていねいに描いているところや、キャラクターの成長に魅力を感じました。第1話で転校してきた西住みほが、戦車道を履修したくなくて悩んでいるときに、友達が保健室で相談に乗ってくれましたね。ああいうチームワークは、サッカーでも大切なんです。細かい精神面のケアができているかできていないかで、チームも大きく変わってきます。たとえヘタでも、チームワークを大切にする選手がいるチームは強いんです。

どんなにうまい選手でも、スタンドプレーばかりしているようでは、チームとしては、マイナスになってしまいます。サッカーも戦車道も、チームワークが大切なんだと思います。ひょっとしたらガルパンは、サッカーの教育番組じゃないのか、と思って観ていた部分もあります。ガルパンで描かれているチームワークや緻密な戦術は、サッカーにとっても大事なことなので、精神的に通じるものがあるんですね。

——ガルパンで、とくに好きなエピソードはありますか？

第1話の保健室シーンのほかに、五十鈴華がここ一番で射撃して、相手を撃破するシーンや、第4話の大洗町を戦車が疾走していくシーンも好きです。キャラクターでは、カチューシャが好きですね。昔、父がロシア民謡好きでよく一緒に聞いてたので、懐かしさもあるのかもしれませんが。

——水戸出身の華さん推しではないんですか（笑）。

……あ！ そうです！ 私は華ちゃん一筋です!!

ちなみに好きな戦車は、M4シャーマンです。小さい頃に兄が模型を作っていたのですが、そのなかで一番カッコよかった。思えばそのころから、戦車道の下地ができていたのかもしれませんね（笑）。

### 選手もはまりつつある……のかもしれない？

——ガルパンと水戸ホーリーホックのコラボで、何か変わったところはありましたか？

スタジアムにおいでいただくお客様が非常に多くなりました。以前からのファンの方も、ガルパンに好意的な人が多いんです。ガルパンファンの方達は、サッカーファンと共通する点がたくさんあります。とことん応援してくれるところとかも、似ているのかもしれない、と感じます。我々も含めていい関係で、仲よくやっています。なので、今後はスタジアムにガルパンの横断幕をもっと出したり、イベントを開催しようという話になっています。

選手達も楽しんでいますよ。先日、二瓶翼選手と岡田明久選手にガルパンのユニフォームを着せて写真撮影したら、彼ら、ちょっとはまりそうでした。「これやるんですか。萌えてきますね」と言ってましたから。

——今後展開される、コラボグッズの予定は？

グッズに関しては、発売中のレプリカユニフォームのほかに、発売日は未定ですがコラボTシャツ3種類とタオルマフラーを作っています。

さらに現在、新しいイラストを2枚ほどバンダイビジュアルさんにお願いしていまして、それを使った新規のコラボレーショングッズも予定しています。今年は水戸ホーリーホック設立20周年なので、いろいろと企画を考えています。楽しみにしていてください。

——最後に、ガルパンと水戸ホーリーホックを愛しているファンへ、メッセージをお願いします。

緻密な戦術を立てるための知恵と勇気、そしてチームワークという固い絆で戦っていくという点で、戦車道とサッカー道は、精神性がよく似ています。このガルパンとのコラボは一過性で終わることなく、永続的に推していきたいと考えています。ぜひスタジアムに足を運んでいただいて、あんこうチームともども、水戸ホーリーホックも応援していただきたいと思います。



# 吉川和篤

よしかわ かずのり ◆ イタリア軍研究家

19[illegible]4年3月26日生まれ、香川県高松市出身。20年前イタリア軍装の魅力に惹かれ、イタリア軍兵器や戦史研究にも手を拡げて一時ミラノにも住み、退役軍人と交流を深める。アートディレクターの本業の傍ら、雑誌にイタリア軍連載を持ち「イタリア軍入門」「Viva! 知られざるイタリア軍」（イカロス出版）を上梓

## 写真集が取り持つイタリア軍との縁

**—ミリタリーに目覚めたきっかけを教えてください。**

小学生の頃、正月にお年玉として父親にタミヤのミリタリーミニチュア(MM)シリーズを買ってもらったのがきっかけですね。一番大きな箱を指差したのですが、それが88ミリ高射砲のセット。その頃からミリタリーファッションが好きで、兵隊と兵器の両方が入っていてこれはいいと3ヶ月かけて作りました。あとTVドラマ「ラット・パトロール」や、映画「空軍大戦略」とかも好きでした。とくに「空軍大戦略」は、TV放映時にカセットで録音してずっと聞いていました。

**—イタリア軍や戦車に、興味を持たれた理由は？**

もともと、MMシリーズの流れでドイツ軍が好きだったんです。そして就職して余裕が出てきた頃、子供の時には買えなかったドイツ軍装を集め始めたんです。自分が、ドイツ軍のフィギュアになりたかったんですね。その延長で、軍装品の買い付けや観光で訪れたパリの軍事書籍専門店で「デチマ・マス師団」の写真集が目に付いたんです。なんだろうとページをめくったら、カッコいいイタリア軍人が掲載されていて、意外とイケるなと思ったんです。それと同時に、友人から頼まれてイタリア軍のゲートルを買った時、不人気だったおかげで状態のいいものが安く手に入ったんです。そこで、この買い物をきっかけに、イタリア軍装をコレクションしていきました。

その後ミラノに行った時、ミリタリーショップ経由で「デチマ・マス師団」写真集の取りまとめをされた、ヴェテラン(退役軍人)さんを紹介されたんです。本人を目の前にした時は、まるでウルトラマンの本を買ってもらった子供が、本物と出会ったくらい感動しましたね。買い付けもパリからイタリアへと行くようになりましたし、イタリア語も学んで病膏肓に入るという状態です(笑)。

**—ガルパンのTV放映を見た時は、どんな印象を持ちましたか？**

とにかく、戦車の動きがよかったですね。放映前から各イベントで、PVなどを見て注目していましたし、考証・スーパーバイザーの鈴木貴昭さんから資料提供をお願いされていたので、若干の協力関係もありました。ただ、内容はまったく知りませんでした。そんな状態で第1話を観ましたが、サスペンションの挙動が戦車の重量別で違っていたり、ドイツ戦車と日本戦車での履帯のたるませ方の違いなどがCGで再現されていて、これはすごいなと思いました。

あと第1話の最後に学園艦が登場する場面で、作品の世界観が提示されたので、安心して視聴できると感じました。

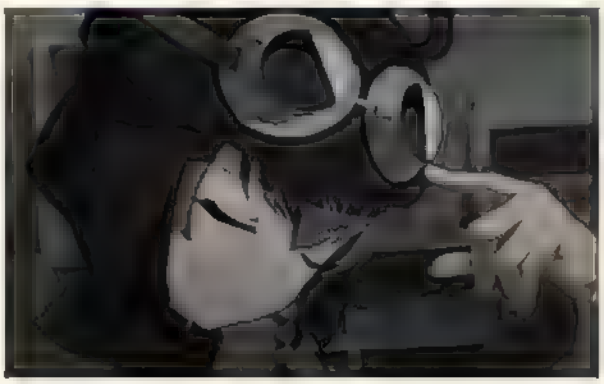
僕だと「マクロス」や「メガゾーン23」を観ていたので、巨大艦の上で生活する世界観になれているので、懐かしい気分でした。

僕の周囲には批判的なマニアやモデラーもいたのですが、見どころを説明すると「観たらおもしろい」とファンになってくれた。かたくななマニアやモデラーから、こだわりという垣根を取り払う役目も、ガルパンは果たしたんじゃないかなと思いました。



**—放映当時は、どんな資料を提供していましたか？**

そんなに、資料は渡していないんですよ。ただ、鈴木さんから八九式中戦車のマニュアルがないかとの依頼を受けて、持っていた乙型のものを撮影して送ったんです。そうしたら第7話で、麻子が見ているマニュアルの表紙が、きちんと乙から甲に変更されている。細かいところまで、ちゃんと描いてくれているんだなと感じました。



## いかにして細部にまで魂を込めたのか

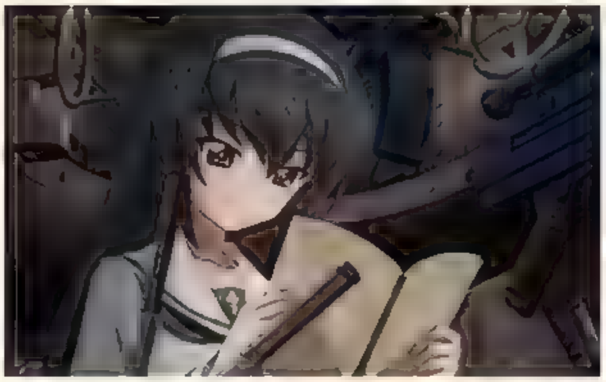
**—OVAの監修作業では、どんなところにこだわりましたか？**

アクタスさんでの、グラフィニカの柳田啓一郎さんや各スタッフとの話し合いで、できるだけこだわりを込めて作りましょうということになりました。そこで安心して、グラフィニカ

# イタリア人気質や国情を重ね合わせて見ると、イタリア戦車の見方も変わると思います。

さんから届いたCG戦車の画像に修正指示を入れていきました。

例えばセモヴェンテはM40の場合、多くはフェンダーが前方三分の一しかないんです。フルについていると、どちらかというとM41になってしまう。また後部のルーバーも、格子の方向がM41だと横になる。そこで、M40のM41化ということをやってみました。ただこれには例外もあって、後方にあった補助転輪の片方を、最終形態でジャッキに変更したんです。それらもグラフィニカさんにより、本物同様に再現されました。あと、リベットの位置にもこだわりました。少しずれるだけで、表情がずいぶん変わってしまう。そこで極力、現物と同じ位置にしようと監修させていただきました。



**——監修作業で、何が一番大変でしたか？**

一番の苦労は、P40の内部写真がほとんど無かったことですね。海外モデラーの作例写真を見ながら、ミリタリーワークスの伊藤岳史さんと、発射装置はヒモで引っ張るタイプか、それとも床のボタンを押すものかと、いろいろと推論していきました。おそらく現在考えられる、最高レベルで再現できていると思います。あと、セモヴェンテの底面も資料がなかった。最初はイタリアまで、写真を撮りに行こうかと考えました。ところが、本国で絶版になった模型キットで、ちゃんと底面までモデリングしているものが出てきたんです。そこで、これを信じるしかないとグラフィニカさんにCGを起こしてもらって、ある程度の整合性を確認。ゴーサインを出したあと、ソミュール博物館にあるM42の底面写真を入手して、考証が間違っていないことを、改めて確認しました。

**——OVAでイタリア戦車に初めて触れる方もいると思いますので、その魅力を教えてください。**

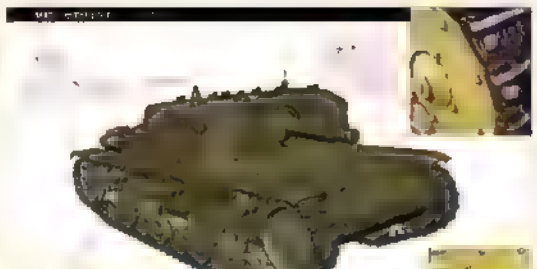
欧米や日本にない方程式で、戦車が開発されている点ですね。P40は第二次世界大戦中にイタリアで、最後に生産された戦車ですが、キューポラがなくて大きなスライド式のトビラなんです。しかも、砲塔部分に二人しか入れず、車長が砲手を兼ねている。だから、相手を狙っているときは、車長が周囲を見渡せずにスキだらけ。猪突猛進な、イタリア人らしさが出ていますよね。あとCV33には、ベンチレーターがないんです。その代わり、エンジンとの隔壁に穴が開いている。その穴からエンジンが吸気して、車内の換気が行われる仕組みなんです。そこからも、イタリア的な合理性が見えてくるんです。それに1939年、イタリアに初めて三個の機甲師団ができたとき、豆戦車しかなかったんですよ。そこから休戦する1943年9月までの間、さまざまな戦車を開発して最後は90ミリ砲を搭載したP43bisという、50年代の主力戦車に近い戦車の模型まで作った。この急激な進化の過程と、イタリア人気質や国情を重ね合わせて見るとおもしろいし、イタリア戦車の見方も変わってくると思います。

## 写真集が取り持つイタリア軍との縁

**——ガルパンに登場する、好きな戦車とヒロインを教えてください。**

OVAで、CV33が改めて好きになりました。イタリアでのイベントで、ちょっと足回りが違うCV38に乗車したのでなじみがありますね。それと「攻殻機動隊S.A.C.」の、タチコマっぽいキャラクター性がありますよね。OVAでも、タチコマのようなかわいらしさが出ると、成功かなと思っています。TVシリーズでは、はっきゅん。僕はイタリアとは別に、日本軍の戦車研究もしていて、最近だと八九式中戦車の写真集も同人誌で出したんです。でも八九式中戦車は、今まで知られていなかったんです。それがガルパンを通じて、一般にまで知られるようになり、チハ(九七式中戦車)や九五式軽戦車も注目され始めている。僕としては、日本軍戦車をここまで押し上げてくれたガルパンはすごく偉大だなと思っています。

ヒロインでは、華さんと秋山殿ですね。華さんは大食漢という設定のほか、砲手としての考え方や華道との向き合い方がいいですね。秋山殿は、マニアの願望が具現化した存在として、魅力的なヒロインですね。OVAでもアンツィオ高校に潜入するらしいので、活躍が楽しみです。





※設定資料内写真　Daniele Guglielmi 氏提供

**——イタリア戦車が動くところも、OVAの見どころですね。**

とにかく、世界で初めてイタリア戦車がアニメ映像で動く。P40が動くだけでも、コアな戦車マニアはびっくりすると思います。またOVAでは、イタリアの食べ物や建築など、文化的な面も描かれていて、僕も看板などのイタリア語を監修させていただきました。鈴木さんによるバランスのいいシナリオと、絵コンテを手がけたカトキハジメさんによる、緻密に練り上げられた戦闘シーンも注目してください。それにOVAを通して、イタリア戦車を好きになっていただければと思います。

Girls und Panzer Style

# ガルパン流 戦車の楽しみ方

普段は体感できない戦車の迫力をお伝えすべく、今回は富士総合火力演習をピックアップ。
ダイナミックかつ正確に射撃する戦車や火砲の模様を、ハイライトでお届けいたします。

## 今度は迫力の実弾射撃を体感してみよう！

### 富士総合火力演習とは？



もともとは1961年、富士学校で始まった「総合展示演習」がルーツ。1966年から一般公開され、1972年に現在の名称となった。ミリタリーファンだけでなく、一般の方にも人気のイベントで、通称「総火演」と呼ばれている。

時期　毎年8月頃
場所　静岡県御殿場市東富士演習場
HP　http://www.mod.go.jp/gsdf/
●イベントページ「富士総合火力演習」を参照

### まずは陸上自衛隊の主要装備品を紹介

総火演のプログラムは、二つのパートに分かれている。その前半戦となる「前段演習」では、おもに自衛隊の装備品を紹介。戦車および火砲の砲撃や対地ヘリによる攻撃、空挺降下などが展開される。





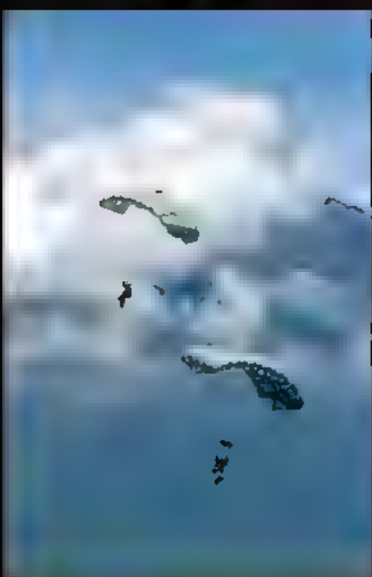
見事なフットワークで、演習場を縦横無尽に走る10式戦車。
どんな悪路を走行していても、砲身はしっかりと目標を捉えている







撃てば必中、守りは固く、進む姿に乱れなし。最新鋭の10式戦車は、[illegible]流をそのまま表現したような動きを見せる



第一空挺団による、降下演習で前段演習はラスト。パラシュートが、空に咲いた白い花のように見える。



偵察や兵員輸送を担う89式装甲戦闘車(下)や、155ミリ榴弾砲を持つ99式自走榴弾砲(左)など、多彩な陸自車両が登場



## 教えて! 広報担当さん

**教えてくれた方 柳川和紀三等陸佐**

——総合火力演習（総火演）を一般に公開している、目的や意義を教えてください。

**柳川**　本来、陸上自衛隊の学校において教育を受けている自衛官に対して、火力などの効果と現代戦における火力戦闘の様相を認識させることを目的としています。昭和36年（西暦1961年）から行われており、昭和41年（西暦1966年）からは国民の陸上自衛隊に対する一層の理解と、信頼の獲得を目的に一般公開を行っています。

——総火演の規模や使用弾薬数は、どれくらいになりますか？

**柳川**　昨年度の実績ですと、演習参加人数は約2300名。参加車輌数は、戦車・装甲車輌が約90輌、火砲約50門。航空機は約20機になります。なお、使用弾薬量は約44トンです。

——ガルパンが放映されて以降、総火演の一般観覧応募数や自衛隊の広報活動などに、何か変化や影響はありましたか。

**柳川**　総火演の見学応募数は、一昨年が約88000人に対して、昨年は約116000人と約28000人も増加しました。近年の我が国を取り巻く安全保障環境への関心の高まりに加え、ガルパンによる戦車人気の高まりも、応募数増加の一因となっていると思います。ガルパンによって、若者を中心に広く自衛隊の活動を知っていただく、きっかけとなっていると思います。

——総火演の見どころを教えてください。

**柳川**　世界遺産である、雄大な富士山を望む演習場において、陸上自衛隊が誇る最新鋭の戦車やヘリコプター、さまざまな火砲などによる大迫力の実弾射撃を、間近に見ることができます。

——総火演以外にも、自衛隊で行われているイベントがございましたら、教えください。

**柳川**　例年11月中下旬には、自衛隊最大の音楽イベントである「自衛隊音楽まつり」を、日本武道館にて行っています。総合火力演習と同じく大変人気が高いイベントで、毎年多数のご応募をいただいています。また陸上自衛隊の各駐屯地では、駐屯地記念日行事などの各種イベントを行っています。くわしくは、陸上自衛隊のホームページをご覧ください。





F-2戦闘機による航空支援のもと、92式地雷原処理車がロケット弾で一列に爆薬を投下。地雷原を爆破して安全な通路を確保したのち、戦車部隊が突入を開始する

## 実戦を想定したシナリオでの演習

後半の「後段演習」は、航空・海上自衛隊も含めた各職種（普通科、機甲科、野戦特科など）の共同作戦を、実戦形式で見せるもの。敵撃退までの過程をアナウンスなどで解説するので、ミリタリー初心者も安心して見学できる。





地雷原を突破した戦車部隊は、集中砲火を浴びせて目標を撃破。最後に戦果を拡張し、スモークを焚いて総火演はクライマックスを迎える





## 総火演の見学アドバイス

総火演の見学には、毎年10倍以上の抽選を乗り越え、入場券を入手する必要がある。応募期間は、例年6月初頭～7月上旬。応募方法はインターネットと、往復はがきの二つがある。入場券は、日付別や交通手段別（マイカー利用の場合、駐車場が割り当てられる）、年齢別（来場者に、29歳以下の方が一人でもいる場合の青年券）の三種類がある。見学希望者は、自衛隊HPを欠かさずチェックして欲しい。

交通手段は、JR御殿場駅からの専用バスを利用するのがベスト。会場は炎天下の演習場なので、こまめな水分補給や帽子、日焼け止めも必要だ。また会場は、富士山のふもとで天候も変わりやすい。雨具や防寒用の長袖シャツも持参したほうが安全だ。ただし、傘は見学の妨げになるので、雨ガッパを用意したい。

それいけ!

# ガルパン料理道



●今回のテーマ●

## 戦車カツ

**第10話で登場した戦車カツは、ガルパンのなかでも印象深い食べ物。そのおいしい作り方を、クックファンの店長である常盤良彦さんや店員のKさんにお聞きしました。**

「放映を見て作るかどうか迷う間もなく、戦車カツ目当てのお客さんが、来てしまいました(笑)」と、語るのはクックファンの常盤良彦さん。同店の「ガルパンかつリアルバージョン」は、今や看板メニューの一つである。ただし試作段階では、かなりの苦労があったようだ。

「実際の大きさに合わせて作ると、お肉の重さだけで600グラム以上になってしまう。それで当初は小さいサイズで提供したのですが、実物大が食べたい! というお客さんが多くなったので、リアルバージョンにチャレンジしました」

とくに苦心したのは、車体部分の分厚いとんかつ。ジューシーに揚げるための試行錯誤が繰り返された。

「お肉を二枚重ねで揚げるので、火の通り具合が普通のとんかつとは違うんです。それで試作を重ねて、そのたびに大洗で行うガルパン関連イベントを手伝ってくれるボランティア『勝手にガルパン応援団』のメンバーに食べてもらいました。もっとも最後には、飽きました、ほかのものが食べたいデスと言われました(笑)」

今回は「ガルパンかつリアルバージョン」の作り方を、次のページに公開。皆様も上手に揚げてください。













誰でもできる!?

# ジューシーな戦車カツの作り方

**教えてくれた方** クックファンベテラン店員 Kさん

※ご本人の希望により、オーアライダーのマスクを被っています(笑)



1 使用するお肉は、茨城県産を中心とした国産豚のリブロース。肉質もきめ細かく、脂も乗った部位です。ブロック状態のままだと筋や軟骨が残っているので、ていねいに取り除きます。その後、約230グラムの重さで二枚カットしていきます。



2 お肉の下ごしらえで、重要なのが筋切り。赤身と脂肪をつないでいる筋を切らないと、加熱で筋が縮んでしまい、お肉がうねってしまいます。クックファンでは筋切りに、特製の機械を使用。一枚につき、約4〜5秒のすばやさです。



3 ていねいに筋切りした後は、お肉を二枚重ねて塩とコショウで下味をつけます。そして二枚重ねのまま、小麦粉をお肉全体にまぶします。余計な粉を軽くふるい落としてから、よく溶きほぐした卵に浸します。



4 衣となるパン粉は、15ミリと20ミリ大に削った二種類の生パン粉をブレンド。これが、サクッとした食感を生み出す秘密です。溶き卵にくぐらせお肉にたっぷりと振りかけて、最後には少し力を入れて押すように全体を揉んでいきます。



5 通常のとんかつであれば油の温度は約170度くらいですが、分厚いかつを揚げる適温は、やや低めの160度から165度。そのかわり、15分と時間をかけて、ゆっくりと揚げていきます。そうしないと、お肉のなかまで火が通らないのです。



6 お肉を揚げる間に、野菜を食器に盛り付けます。お皿に乗っている金網は、巨大なカツからにじみ出る肉汁で、衣がベタつかないようにとの心遣い。金アーミー工業こと、今村金網工業で作られたものです。(13年間、一枚も壊れてないとのこと)



7 お肉が揚がったら、3分ほど蒸らすことが重要。じっくりと余熱で火を通すことで、肉汁たっぷりで柔らかいカツに仕上がります。その後に切り分けて、金網の上に乗せます。なおカツを切る時は、高温なのでやけどに注意しましょう。



8 最後に、砲塔となるじゃがいもコロッケ(約80グラム)と、砲身を模したアスパラガスをカツに乗せて完成。カイワレ大根もひと切れ、忘れずにコロッケの中央に。またご家庭でも、小さな大洗女子の旗を自作して、砲塔に立てて欲しいです。

## プロが教えてくれる おいしさの秘密

カツを揚げるとき、衣が剥がれることがあります。それを防ぐには、パン粉をつける力加減がポイント。最初はふんわりと、最後は少し力を入れて仕上げます。また、筋切りを丹念に行うことも重要です。「ちゃんと筋切りをしないと、お肉が縮んで衣が剥げてしまうんです。また160〜165度でゆっくり揚げることで、衣のひび割れを防いでいます。あと、ご自宅で揚げる時はとにかくたっぷりの油を使ってください」(常盤さん)。



### クックファン

HP:http://cookfan.com/
住所:茨城県水戸市酒門町 3322-1
電話:0120-29-3998(県外からは 029-246-4847)
営業時間:平日・11:30〜14:00、17:30〜21:00
土日祝日・11:30〜14:30、17:30〜21:30

生徒会チームが、験担ぎでカツを食べるエピソードの舞台となったお店。大洗町に続く第二の名所として、多くのファンが訪れている







■表紙の戦車
サンダース大学付属高校
シャーマン・ファイアフライ

所属：サンダース大学付属高校
生産：イギリス
製造：王立造兵廠（ROF）

CG：柳野啓一郎（グラフィニカ）
背景：岩瀬栄治（スタジオ・ちゅーりっぷ）


企画・編集・執筆
湯原隆幸（バンダイビジュアル）
杉山潔（バンダイビジュアル）
小牧雅伸（スタジオ小牧）
千手創壱（スタジオ小牧）
鈴木貴昭
岡田邦彦
糟谷富美夫
モリナガ・ヨウ

執筆・編集協力
塩田昌之

写真提供
グランドパワー（ガリレオ出版）
吉川和篤

カバー・本文デザイン
原田美穂（OverDriveDesign）
浜岡弘臣（OverDriveDesign）
中村浩樹（OverDriveDesign）

協力
バンダイビジュアル
バンダイナムコゲームス
バンプレスト
アクタス
ランティス
グラフィニカ
スタジオ・ちゅーりっぷ
Ability Soul Pro
防衛省陸上幕僚監部広報室
水戸ホーリーホック
大洗町商工会
常盤良彦（クックファン・大洗まいわい市場）
大洗町の皆さま
ガリレオ出版
吉川和篤
才谷屋龍一

発行日　2014年4月25日
発行人　前田明雄
発行所　バンダイビジュアル株式会社
〒140-0002
東京都品川区東品川4-12-4
http://www.bandaivisual.co.jp/
印刷所　株式会社テンプリント





【バンダイビジュアル お客様センター】
TEL：03-5828-7582
受付は月曜日から金曜日までの午前10時から午後5時まで
（祝日、年末年始を除く）

TU-0271



# 月刊 戦車道

## 第63回戦車道全国高校生大会 増刊 第2号



## 第63回戦車道全国高校生大会 増刊 第3号 次回予告

### 二回戦の相手よりも、大洗女子の戦いぶりに興味津々

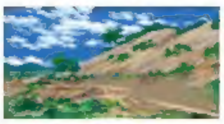
連載小説 聖グロリアーナ女学院、戦いの軌跡

### 聖グロリアーナ女学院×黒森峰女学園への道

全国大会一回戦を、軽々と突破した聖グロリアーナ。ただしダージリンの興味は、二回戦の相手よりも大洗女子の戦いにあった。大洗女子の試合を観戦する、ダージリンの言動に注目!




### 世界の豆戦車に注目！ 不肖・秋山優花里の戦車講座




華さんも大好きな、小さな豆戦車「タンテッケ」。一時期は各国で流行した、豆戦車の開発状況を、秋山優花里が紹介。キュートに戦場を走り回った、その魅力をお伝えします

### 知られざるアンツィオ高校の実態をスクープ!
### ライバルチーム研究

ノリと勢いで、大洗女子の前に立ちはだかるアンツィオ高校をクローズアップ。BC自由学園やヨーグルト学園にも迫ります



### 注目記事で、奥深い戦車道の世界を解説

- グラフィック イン アクション
- 大洗女子チームの日常
- 大洗女子チームメンバー 戦車愛を語る
- ガルパン トピックス
- ガルパン メイキング ログ
- ガルパン・イベントレポート
- プロジェクトG ～ガルパンを支えた人びと～
- ガルパン流 戦車の楽しみ方
- それいけ! ガルパン料理道

必聴

# ガルパンCDコレクション

貴重なレアCDも集めてみました!!

**ガルパンをさわやかに、そして感動的に盛り上げた楽曲をすべてチェック。**




## ファンディスクCD ディープパンツァーCDです！

●¥2,000(税抜)　●LACA-15326　●発売元:ランティス

第9話の挿入歌「雪の進軍」を始め、BGM「戦車道行進曲」をリメイクしたあんこうチーム5人によるキャラソンを収録。さらに、名シーンの音響効果(砲撃音や履帯の音)のみ収録した、スペシャルトラックは迫力満点!

### 収録内容

1.「総合火力演習です!」　出演:西住みほ(渕上舞)　秋山優花里(中上育実)　ダージリン(喜多村英梨)　蝶野亜美(椎名へきる)　西住まほ(田中理恵)　ケイ(川澄綾子)　アンチョビ(吉岡麻耶)　カチューシャ(金元寿子)

2.「戦車道行進曲」　歌:あんこうチーム　作詞:吉田玲子　作曲:浜口史郎　編曲:中西亮輔

3.「雪の進軍」　歌:あんこうチーム　作詞・作曲:永井建子　編曲:石川智久

〈BONUS 音響効果トラック〉

1.#1「進軍する聖グロリアーナと囮となるⅣ号」

2.#3「Ⅳ号、吊り橋の上の戦い」

3.#4「大洗町市街戦。逃げるⅣ号と追うマチルダ!! ～チャーチルとの一騎打ち」

4.#6「ファイアフライ17ポンド砲声 ～稜線射撃とⅣ号被弾」

5.#8「雪上の戦い1 追撃、そして敵の包囲網の中へ……」

6.#9「雪上の戦い2 敵包囲網を突破せよ! ところてん作戦開始」

7.#11「マウスの威容 ～マウス撃破!」

8.#12「パンツァーチェイス! 市街地を駆ける八九式!」




Lantis OFFICIAL WEB SHOP
「L-MART」にて発売
http://lantis-store.jp

## あんこう音頭 大洗盆踊りver.

●¥2,000(税抜)　●LZM-2107～LZM-2108　●発売元:ランティス

**歌:佐咲紗花**

作詞:吉田玲子　作曲:水島努
編曲:EFFY

第4話で披露された「あんこう音頭」を、誰でも踊れるスローバージョンでお届け。そして同梱のDVDは、渕上舞さんが大洗町の各地であんこう音頭を踊る「リアルアンコウ・ウォー!」を収録

## 激レア必至のスペシャルCD

### 一番くじオリジナルCD

**第1弾** 不肖・秋山優花里の戦車講座～番外編～

**第2弾** 私たちが「戦車道」を選んだ理由






●1回¥600(税込)　●発売元:バンプレスト
※現在、販売は終了しております
バンプレストが展開する、ハズレくじなしの「一番くじ」。ガルパンでの第1弾は、優花里が決勝戦を振り返る内容。第2弾ではカバさん、アヒルさん、ウサギさんチームが戦車道を選択するまでを描く

### ガルパン アニ店特急スペシャルドラマCD 年末年始です！



【車内配布版】
●¥1,500(税抜)
●発売元:アニメイト

【全国版】　●¥2,000(税抜)　●発売元:アニメイト

2013年の冬コミケで、会場とアニメイト秋葉原店を結んだ「アニ店特急」用のドラマCD。決勝戦を制した、あんこうチームの年末を収めた1枚です




### オリジナルサウンドトラック

●¥3,048(税抜)　●LACA-9256～LACA-9257　●発売元:ランティス

**音楽:浜口史郎**

挿入歌:「あんこう音頭」
歌:佐咲紗花　作詞:吉田玲子　作曲:水島努　編曲:藤井丈司　「カチューシャ」
歌:カチューシャ(金元寿子)&ノンナ(上坂すみれ)　作詞:M イサコフスキー　作曲:M ブランテル　編曲:浜口史郎




### ドラマCD 今度はドラマCDです！

●¥2,857(税抜)　●LACA-15301
●発売元:ランティス

出演:西住みほ(渕上舞)　武部沙織(茅野愛衣)　五十鈴華(尾崎真実)　秋山優花里(中上育実)　冷泉麻子(井口裕香)　ほか




### キャラクターソング vol.1 西住みほ

●¥1,200(税抜)　●LACM-14031
●発売元:ランティス

**歌:西住みほ(渕上舞)**

「SCHOOL GIRL、はじめます!」
作詞:松井洋平　作曲・編曲:nyanyannya (Team.ねこかん【猫】)
「infinity orbit」
作詞:松井洋平　作曲・編曲:吉岡大志




### キャラクターソング vol.2 武部沙織

●¥1,200(税抜))　●LACM-14032
●発売元:ランティス

**歌:武部沙織(茅野愛衣)**

「恋にLOVEして」
作詞・作曲:rino　編曲:酒井陽一
「SUNNY GIRL」
作詞:rino　作曲・編曲:野井洋児




### キャラクターソング vol.3 五十鈴華

●¥1,200(税抜)　●LACM-14033
●発売元:ランティス

**歌:五十鈴華(尾崎真実)**

「咲いたはな」
作詞・作曲・編曲:矢吹香那
「なんて素敵な理想像!」
作詞:松井洋平　作曲・編曲:泉典孝




### キャラクターソング vol.4 秋山優花里

●¥1,200(税抜)　●LACM-14034
●発売元:ランティス

**歌:秋山優花里(中上育実)**

「戦車道恋唄!」
作詞:松井洋平　作曲:H-STK
編曲:H-STK・秋山友紀
「1PLDK」
作詞:松井洋平　作曲・編曲:木村有希




### キャラクターソング vol.5 冷泉麻子

●¥1,200(税抜)　●LACM-14035
●発売元:ランティス

**歌:冷泉麻子(井口裕香)**

「メランコリック」
作詞・作曲・編曲:本田光史郎
「朝の戦い」
作詞・作曲・編曲:本田光史郎




【初回限定版(CD+DVD)】




【通常版】

### OPテーマ DreamRiser

●初回限定版:¥1,714(税抜)・通常版:¥1,238(税抜)
●初回限定版:LACM-34011・通常版:LACM-14011　●発売元:ランティス

**歌:ChouCho**

「DreamRiser」　作詞:こだまさおり　作曲:rino　編曲:h-wonder
「かみつれを手に」　作詞・作曲・編曲:mito
「life is blue back」　作詞:林英樹　作曲:佐藤純一　編曲:fhana




### EDテーマ Enter Enter MISSION!

●¥1,238(税抜)　●LACM-14019
●発売元:ランティス

**歌:あんこうチーム**

「Enter Enter MISSION!」
作詞:畑亜貴　作曲:矢吹香那・佐々木裕
編曲:佐々木裕
「それゆけ! 乙女の戦車道!!」
作詞:水島努　作曲・編曲:伊藤真澄

ガールズ&パンツァー
GIRLS und PANZER

月刊 戦車道 特別編集

# 月刊 戦車道 第63回 戦車道全国高校生大会 増刊第2号

●発行：財団法人 日本戦車道連盟 Tel.1000-100-5050
●編集：月刊戦車道 編集部
●発売・販売元：BANDAI バンダイビジュアル株式会社



TU-0271

